

関東信越厚生局長 殿

新潟大学医歯学総合病院  
開設者名 (管理者) 鈴木 榮

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法 (昭和 23 年法律第 205 号) 第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	63.6 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	476人	66人	494.6人	看 護 補 助 者	22人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	181人	66人	186.1人	理 学 療 法 士	10人	臨 床 検 査 技 師	71人
薬 剤 師	42人	0人	42.0人	作 業 療 法 士	4人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	5人	そ の 他	0人
助 産 師	30人	0人	30.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	774人	18人	786.8人	臨 床 工 学 技 士	14人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	10人
准 看 護 師	1人	4人	3.3人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	22人
歯 科 衛 生 士	18人	6人	22.2人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	154人
管 理 栄 養 士	7人	0人	7.0人	診 療 放 射 線 技 師	42人	そ の 他 の 職 員	25人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	706.8人	28.9人	735.7人
1日当たり平均外来患者数	1,551.4人	549.3人	2,100.7人
1日当たり平均調剤数		1,244剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	100人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	87人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	151人	・原発性胆汁性肝硬変	68人
・全身性エリテマトーデス	365人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	100人
・再生不良性貧血	36人	・混合性結合組織病	49人
・サルコイドーシス	208人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・特発性間質性肺炎	10人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	264人	・網膜色素変性症	26人
・特発性血小板減少性紫斑病	57人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	41人	・肺動脈性肺高血圧症	20人
・潰瘍性大腸炎	303人	・神経線維腫症	42人
・大動脈炎症候群	50人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	41人	・慢性血栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	72人	・ライソゾーム病	14人
・クローン病	92人	・副腎白質ジストロフィー	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	9人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	127人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	12人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11人
・後縦靭帯骨化症	80人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	90人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	24人	・リンパ管筋腫症(LAM)	7人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	64人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	32人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	114人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心エコー法	・
・センチネルリンパ節生検	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	・
・インプラント義歯	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	267回/年
部 検 の 状 況	部検症例数 24例 / 部検率 5.20%

## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	15,540,000	補 委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	230,000	補 委 新潟県
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	八幡 哲朗	産科婦人科	972,000	補 委 新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制整備の構築に関する研究	西澤 正豊	神経内科	5,905,000	補 委 新潟県
急性期脳卒中の内科的治療効果の検証に関する研究	赤岩 靖久	神経内科	1,200,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
扁平上皮癌の高精度バイオマーカー実用化に向けた診断キットの製作	永田 昌毅	顎顔面外科診療室	1,700,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	中田 光	生命科学医療センター	198,525,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
肺胞蛋白症の吸入治療のための新規GM-CSF製剤の非臨床試験	田澤 立之	生命科学医療センター	38,350,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
U12依存性スプライシングとALSサーキットパソロジー	小野寺 理	神経内科	6,000,000	補 委 文部科学省
TDP43の自己調節機能に注目したALSの病態機序の解明	西澤 正豊	神経内科	20,100,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳小血管障害の病態機序の解明: CARASILの病態機序からのアプローチ	小野寺 理	神経内科	1,500,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳小血管病の解明と治療方法の確立: CARASILの病態機序からのアプローチ	小野寺 理	神経内科	7,200,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
重合体毒性仮説に基づくポリグルタミン病の病態解明と新規治療薬開発	他田 正義	神経内科	1,400,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
近赤外分光法を用いた新しい術中モニタリングの開発ー神経ネットワークの可視化ー	福多 真史	脳神経外科	2,200,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳機能再構築に基づく脳腫瘍新規治療法の開発	藤井 幸彦	脳神経外科	1,500,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
C9FTD/ALSと孤発性ALSを繋ぐ病態機序の解明	小野寺 理	神経内科	1,400,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
ALS罹患組織における GEM小体減少機序の検討	石原 智彦	神経内科	1,500,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
メチル水銀中毒に対する新規治療標的分子としての血管内皮細胞増殖因子の検討	下畑 享良	神経内科	1,100,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
アミロイドβ依存症に異常タウリン酸化を誘導する分子群の網羅的解析	池内 健	神経内科	2,200,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	小野寺 理	神経内科	1,500,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金







(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大規模離島インフルエンザ発症登録システムの活用による学童の流行期生活行動変容効果	関 奈緒	看護学	1,690,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
制御性T細胞とTh17を標的とした心血管炎症性疾患の治療	小玉 誠	血液・内分泌・代謝内科学(内科学第一)	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
傷害を受けた糸球体上皮細胞に発現するトランスグリンの機能と発現メカニズムの解明	坂爪 実	内科学第二	390,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
血液中25OHD不足は脊椎骨折、続いて大腿骨頸部骨折をおこすか?	遠藤 直人	整形外科学	780,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
肥満が子宮体癌の発症・進展に関与する新たな分子機構の解明	八幡 哲郎	産婦人科学	520,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
ピンポイント照射法を用いた極低侵襲レーザー治療装置の基礎	坂村 律生	形成外科学	650,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
石灰化嚢胞性歯原性腫瘍由来CCOT細胞系における幻影細胞化と石灰化の分子機構	程 クン	口腔病理学(病理学)	1,040,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
ケイ酸カルシウム系生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化能の探索	児玉 臨麟	う蝕学(1保存)	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
在宅高齢者に対するピエゾセンサーを用いた遠隔嚙下機能評価訓練システムの開発	櫻井 直樹	包括歯科補綴学(1補綴)	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
破壊靱性値を指標とした乳歯エナメル質のバイオメカニクス的特性-永久歯との比較-	坂井 幸子(林 幸子)	小児歯科学(小児歯)	650,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
習慣性咀嚼に対する骨リモデリングシミュレーションによる上下顎骨偏位パターンの確立	齋藤 功	歯科矯正学(矯正)	780,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
画像認知とオントロジーを融合した顎変形症診断支援システムの開発とその臨床応用	越知 佳奈子	歯科矯正学(矯正)	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
仮説:歯列咬合状態から捕食動作は推察できる	早崎 治明	小児歯科学(小児歯)	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
歯垢バイオフィルムの細菌動態に着目した初期齲蝕モニタリングシステム	松山 順子	小児歯科学(小児歯)	1,040,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
医用X線源を用いた2色X線CTによる電子密度計測	齋藤 正敏	放射線技術科学	260,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
全く新しい方法による標的mRNA切断を応用した腫瘍に対する新規核酸医薬の開発	成田 美和子	検査技術科学	1,560,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
性差に基づいた自己免疫性肝炎の発症と肝内樹状細胞との関連性について	富山 智香子	検査技術科学	1,170,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
国立大学法人の「性差保健」研究による地域貢献のあり方についての省察的実践研究	西原 亜矢子	保健学科	520,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
潰瘍性大腸炎の炎症性発癌におけるDNA損傷修復応答の意義	味岡 洋一	病理学第一	1,560,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
耳朶鼓膜の評価者間一致率および心血管病との関連についての検討	若杉 三奈子	臓器連関研究センター	1,560,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会

## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小細胞肺癌に対する癌幹細胞特異的蛋白質を標的とした新規抗腫瘍免疫療法の開発	各務 博	内科学第二	1,690,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
全ゲノム解析による家族性IgA腎症の原因遺伝子の探索	後藤 眞	内科学第二	1,950,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
統合失調症多発罹患家系において見出された稀もしくは長大なコピー数多型の関連研究	金子 尚史	精神医学	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
日本人一般住民における深部静脈血栓の頻度及び地域差の調査	榛沢 和彦	外科学第二	1,690,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
局所脳機能への麻酔作用の画像解析とその動画ライブラリーの構築	藤原 直士	検査技術科学	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
プレギャバリン・ガバペンチンの本当の作用機序	馬場 洋	麻酔科学	780,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
緑内障の視神経乳頭部における細胞・細胞外マトリックス構造のインターアクション	福地 健郎	眼科学	1,040,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
64列MDCT perfusionによる潜在的頸部転移リンパ節可視化の試み	林 孝文	顎顔面放射線学(放射線)	1,560,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
自律神経系は咀嚼筋のT2値に関与するの？	西山 秀昌	顎顔面放射線学(放射線)	3,510,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
菌体外マトリックスを標的とした成熟バイオフィルム制御のための多角的アプローチ	竹中 彰治	う蝕学(1保存)	1,430,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
安定した高い粘膜炎再生能を有する培養粘膜の開発ー口腔粘膜上皮前駆/幹細胞の応用ー	芳澤 享子	組織再建口腔外科学(1外科)	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト口腔顔面の末梢神経障害に対する水分子状態をとらえたMR生体病理イメージング	照光 真	歯科麻酔学(麻酔科)	910,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
新規歯根形成細胞マーカーによる歯根形成・吸収機構の解析～抗がん剤投与モデル～	三富 智恵	小児歯科学(小児歯)	1,430,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
8020達成後の歯数維持に関するコホート研究	廣富 敏伸	予防歯科学(予防歯)	1,820,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
2型糖尿病患者のCKD病態に対する抗菌的歯周治療の有用性に関する無作為化比較試験	小川 祐司	予防歯科学(予防歯)	2,600,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
マンモグラフィ受検者の『心身緊張を自ら軽減する』ケアプログラムの構築	李 鎔範	放射線技術科学	780,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
子育て期早期の女性の身体的健康と睡眠	関島 香代子	看護学	1,430,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
相互情報量によるデジタル医用画像の総合的画質評価法の確立	佐井 篤儀	放射線技術科学	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
肺がんCT診断支援システムに適する画質への画像変換法の開発	大久保 真樹	放射線技術科学	520,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
サイトカイン干渉シグナルに着目したチロシンキナーゼ阻害薬併用療法の開発	松田 康伸	検査技術科学	2,990,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会

## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝移植後の肝癌再発機序におけるNK細胞機能の重要性と免疫監視破綻機序の解明	山際 訓	内科学第三	2,860,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
高周波イリゲーションカテーテル焼灼法による心腎自律神経系の機能と構造修飾の検証	池主 雅臣	検査技術科学	1,950,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
腫瘍細胞内tRNA前駆体切断酵素を効果的に利用した全く新しい白血病治療法の開発	高橋 益廣	検査技術科学	1,300,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
マウス気管支喘息モデルを用いた舌下免疫療法のメカニズムの解明	小屋 俊之	内科学第二	2,600,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
共感する脳:2個体同時脳機能計測-共感の個人差からアスペルガー症候群へ	北村 秀明	精神医学	3,380,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
腫瘍細胞株をもちいたGIST悪性化の関連分子の同定とその機能分析	神田 達夫	外科学第一	650,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
肝門部胆管領域癌における確証的なリンパ節転移分類法の確立を目指して	白井 良夫	外科学第一	1,430,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
ナノバブル超音波増強法を用いた肺静脈からの逆行性アプローチによる肺への遺伝子導入	土田 正則	外科学第二	2,990,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
前立腺癌のアンドロゲン受容体に対するアンタゴニストのアゴニスト化の解明	西山 勉	泌尿器科学	3,640,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
多嚢胞性卵巣症候群における若年子宮内膜癌発症に関する遺伝学的研究	加嶋 克則	産科婦人科学	2,080,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
肝芽腫におけるisoform別CEACAM1発現欠失の機序の解明及び臨床的意義	仲谷 健吾	小児外科学	2,080,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
組織培養法による歯髄再生モデルの確立と歯髄細胞の動態解析	吉羽 邦彦	う蝕学(1保存)	2,080,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
微小加速度計とSDメモリー携帯記録装置による歯科切削時の振動被曝・筋電図解析	小林 博	包括歯科補綴学(1補綴)	1,950,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
口腔・咽頭内残留の定量的評価と舌圧との関連	堀 一浩	摂食・嚥下リハ(加齢)	1,820,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
口腔粘膜上皮前駆/幹細胞を用いた凍結培養粘膜の移植後動態の解明	小山 貴寛	顎顔面口腔外科学(2外科)	2,210,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
痛みとうつの相関関係~NPYを基点として~	弦巻 立	歯科麻酔学(麻酔科)	2,860,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
有限要素法と骨リモデリングシミュレーションによる効果的顎変形症治療システムの開発	渡邊 直子	歯科矯正学(矯正)	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯周炎・肥満・骨粗鬆症関連遺伝子PPARガンマーの閉経後女性における解析	杉田 典子	歯周診断・再建学(2保存)	3,770,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
高齢者の口腔機能改善が及ぼす運動器機能訓練への増強効果の検証	宮崎 秀夫	予防歯科学(予防歯)	1,950,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
応急仮設住宅居住高齢者のストレス応答反応、環境、眠りの関連と包括的睡眠ケアの構築	齋藤 君枝	看護学	3,640,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会



## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
歯周炎病因論に基づくサイトカイン標的療法の確立	吉江 弘正	歯周診断・再建学(2保存)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
看護職専門の外部EAP機関設立を目指した看護職のメンタルヘルスケアプログラム開発	渡邊 岸子	看護学	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
テロメラーゼ特異的制限増殖型アデノウイルスによる骨軟部肉腫に対するウイルス療法	川島 寛之	整形外科学	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
捕食時の開口運動に関する研究～加齢・歯の喪失・義歯が与える影響～	佐藤 直子(五十嵐 直子)	包括歯科補綴学(1補綴)	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
骨-人工材料もしくは骨-骨間インターフェイス改善に関する新技術の確立	松田 純平	整形外科学	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
慢性疼痛の大規模疫学調査研究	北村 香織	臓器連関研究センター	390,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新規HTRA1点変異ヘテロ接合体における脳小血管病の病態機序の解明	野崎 洋明	検査技術科学	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
薬理ゲノム学的手法を用いたオランザピン誘発性糖代謝異常のメカニズム探索	福井 直樹	精神医学	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
CRPSにおけるアクアポリン1の役割について	PETRENKO A NDREY	麻酔科学	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
カテゴリー知覚を用いた正常～軽度難聴高齢者の聴覚時間分解能の検討	相澤 直孝	耳鼻咽喉科学	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
癌細胞によるアポトーシス細胞貪食:分子機構と病理学的意義	山崎 学	口腔病理学(病理学)	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
舌癌の後発リンパ節転移のスクリーニングー口底のバリアー欠損は転移ルートかー	斎藤 美紀子	顎顔面放射線学(放射線)	520,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
半導体レーザーによる歯髄内硬組織形成ー非コラーゲン蛋白の局在と遺伝子発現解析ー	重谷 佳見	う蝕学(1保存)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
顎関節滑膜組織における疼痛の発現とその調節機構の解明	池田 順行	顎顔面口腔外科学(2外科)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
機械受容器におけるTRPM8の発現を指標にした歯の移動時に生じる痛みの発現機序	原田 史子	歯科矯正学(矯正)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
嚥下調節機構における摂食関連ペプチドの役割とその発達に関する研究	中村 由紀	摂食・嚥下リハ(加齢)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
乳歯歯髄細胞由来IPS細胞を用いた遺伝子工学的手法による歯髄幹細胞の単離	齊藤 一誠	小児歯科学(小児歯)	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
メタボリック症候群はGCF中のアディポサイトカインを介して歯周炎を増悪させるか?	島田 靖子	歯周診断・再建学(2保存)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新しく確立されたT細胞サブセットT(FH)は歯周炎に関与するか	伊藤 晴江	歯周診断・再建学(2保存)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ミュータンス菌の遺伝子検査法の臨床応用	金子 昇	予防歯科学(予防歯)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会









(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性不整脈症候群の不整脈基盤に關与する新たな遺伝的背景の解明と個別化治療の確立	渡部 裕	循環器内科	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
肺癌分子標的治療における新たな効果予測因子、治療ターゲットの探索	吉澤 弘久	生命科学医療センター	2,210,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
腫瘍免疫の再構築をコンディショニングとした進行期肺癌に対する新たな免疫療法の開発	渡部 聡	生命科学医療センター	1,560,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
腎糸球体上皮細胞におけるプロラクチン受容体の腎疾患における役割の解明	金子 佳賢	第二内科	650,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
シヌクレインパチーにおける消化管病理のスペクトラム: 中枢病変との相関を解析	小澤 鉄太郎	神経内科	2,860,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
学校心臓病検診における新規致死性不整脈のリスクの検討	鈴木 博	小児科	2,210,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
レミフェンタニルの急性耐性と痛覚過敏 — 存在の是非と機序の解明 —	石井 秀明	麻酔科	3,250,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
多形性腺腫細胞の低酸素応答性細胞外基質改変における転移形質獲得機構	丸山 智	病理検査室	2,080,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
3次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスペーサーの線量分布への影響の解明	勝良 剛詞	歯科放射線科	1,300,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯髓の組織再生を促進させるための血管新生バイオマーカーに対する分子生物学的研究	金子 友厚	歯の診療科	2,860,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
根管拡大形成操作解析装置の開発—シミュレータ使用のための検証—	庭野 和明	歯の診療科	1,430,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
顎関節モビライゼーションの治療効果とそのメカニズムの解明	荒井 良明	顎関節治療部	2,340,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
味覚と嗅覚刺激による口腔顔面痛の変調機構の解明と臨床への応用	田中 裕	歯科麻酔科	3,120,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯根膜細胞と腱細胞の相同性からみた歯周組織再生の可能性	河野 承子	小児歯科・障がい者歯科	1,820,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯周炎罹患歯肉局所におけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現亢進を探る	久保田 健彦	歯周病科	2,080,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
スケーリング後の菌血症に伴う生体応答～IL-6コンポーネントとの関連性の解析～	小松 康高	歯周病科	1,560,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
疼痛制御に關与するSema3Aシグナルパスウェイの解明	紙谷 義孝	麻酔科	2,340,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
遺伝子発現データに基づく予後予測モデル構築の統計理論の開発と実データによる検証	赤澤 宏平	医療情報部	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
急性期病院における患者特性を考慮した退院支援のあり方	鈴木 一郎	地域保健医療推進部	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
肺線維化進展における組織幹細胞・前駆細胞の意義の解明とその免疫学的除去の試み	坂上 拓郎	総合臨床研修センター	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊髄再生は運動および感覚機能を正常に回復できるか？脊髄機能モニタリングによる解析	飛田 俊幸	麻酔科	910,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
神経障害性疼痛にケタミンが効く機序の解明	高松 美砂子	手術部	1,040,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
Dual Energy CTイメージングによる顎骨骨髄微小循環抽出の試み	田中 礼	歯科放射線科	1,040,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
Tooth Wear(咬耗)の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査	石崎 裕子	歯科総合診療部	780,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発 — 歯科臨床からのアプローチ —	田中 みか子	義歯診療科	910,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
培養口腔粘膜上皮細胞とハイドロゲルのミックス材を用いた皮膚創傷治療効果の検証	安島 久雄	顎顔面口腔外科	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する	児玉 泰光	顎顔面口腔外科	650,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
多血小板血漿を歯の移植に応用する-in vivoとin vitroの検討-	新美 奏恵	地域保健医療推進部	780,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
培養骨膜細胞による歯槽骨再生Phase II 臨床試験と将来の無血清化への基礎的検討	星名 秀行	インプラント治療部	2,340,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
歯胚移植術を用いた歯髄形成過程における歯髄幹細胞とWntシグナルの役割の解明	大島 邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,820,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
炎症性腸疾患における新規病勢マーカーの開発	中田 光	生命科学医療センター	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
緑内障ステント手術の開発と線維柱帯の組織学的変化に関する研究	上田 潤	眼科	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
ハイドロダイナミック遺伝子導入法による非ヒト霊長類への遺伝子治療	上村 顕也	第三内科	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
肝内胆管癌発癌過程におけるL1-カドヘリンの役割と早期診断への応用	高村 昌昭	第三内科	1,170,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
ミラーニューロン障害仮説に基づく自閉症スペクトラム障害の早期診断マーカーの探索	遠藤 太郎	精神科	1,560,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップの研究: 耳鳴の積極的予防を目指して	窪田 和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
メカノセプターとしてのプライマリー・シリアによる歯根膜維持機構	加来 咲子	冠・ブリッジ診療科	1,950,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
骨粗鬆症患者へのインプラント適用を目的としたエピジェネティクスによる骨代謝制御	秋葉 奈美	冠・ブリッジ診療科	1,820,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
抗アポトーシスタンパクHSP27の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発	川崎 真依子	冠・ブリッジ診療科	1,170,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会
バイオリサイクルを考慮した過剰埋伏歯由来iPS細胞の樹立効率の検討	齊藤 陽子	小児歯科・障がい者歯科	1,690,000	補 委 独 立 行 政 法 人 日 本 学 術 振 興 会



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
水俣病、緑内障、中枢神経疾患患者の視機能がQOLに与える影響に関する研究、特に読書能力、運転能力について	福地 健郎	眼科	2,000,000	補 委 新潟県
長寿・老化モデルマウスを用いた慢性炎症機構の解明	南野 徹	循環器内科学	15,886,000	補 委 独立行政法人科学技術 振興機構
凍結自己骨膜を利用したオーダーメイド骨充填材の開発	奥田 一博	歯周診断・再建学(2 保存)	850,000	補 委 独立行政法人科学技術 振興機構
クログラフの波形を利用した嚥下機能の新たな評価ツールの開発	井上 誠	摂食・嚥下リハビリ テーション学(加齢)	720,000	補 委 独立行政法人科学技術 振興機構
熱傷治療技術を応用した在宅介護ベッドシステムの開発と市場開拓	柴田 実	形成外科学	38,509,738	補 委 公益財団法人にいがた産 業創造機構
(以下余白)				

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Brain-derived neurotrophic factor protects against cardiac dysfunction after myocardial infarction via a central nervous system-mediated pathway.	南野徹	循環器内科
Cell	Complement C1q activates canonical wnt signaling and promotes age-related phenotypes	南野徹	循環器内科
Hypertension	Agonist-independent constitutive activity of angiotensin II receptor promotes cardiac remodeling in mice	南野徹	循環器内科
Cell Metab	p53-induced adipose tissue inflammation is critically involved in the development of insulin resistance in heart failure.	南野徹	循環器内科
Am J Hypertens	Aldosterone does not contribute to renal p21 expression during the development of angiotensin II-induced hypertension in mice.	南野徹	循環器内科
Int Heart J	Acute heart failure syndrome associated with snow shoveling	伊藤正洋	循環器内科
Intern Med	Post-exercise cardiac asystole in a young competitive athlete	伊藤正洋	循環器内科
Am J Cardiol	Comparison of patients with pulmonary arterial hypertension with versus without right-sided mechanical alternans	伊藤正洋	循環器内科
Mol Cell Probes	Estimation of paracrine signaling using quantitative RT-PCR from multiple patchy lesion samples	埴晴雄	循環器内科
Heart Vessels	Mechanical alternans in human idiopathic dilated cardiomyopathy is caused with impaired force-frequency relationship and enhanced poststimulation potentiation	柏村健	循環器内科
Movement Disorders	Significance and usefulness of heart rate variability in patients with multiple system atrophy	古嶋博司	循環器内科
Europace	Is coexistence of sustained ST-segment elevation and abnormal Q waves a risk factor for electrical storm in ICD patients with structural heart diseases?	古嶋博司	循環器内科
J Interv Card Electrophysiol	Relationship between electroanatomical voltage mapping characteristics and breakout site of ventricular activation in idiopathic ventricular tachyarrhythmia originating from the right ventricular outflow tract septum	古嶋博司	循環器内科
Internal medicine	Malfunction of cardiac resynchronization therapy due to a subsequent fracture of the ring and tip-conductors of the co-radial designed left ventricular bipolar lead	佐藤光希	循環器内科
Europace	Analysis of j waves during myocardial ischaemia	佐藤光希	循環器内科
Internal medicine	Long qt syndrome with nocturnal cardiac events caused by a kcnh2 missense mutation (g604s)	佐藤光希	循環器内科
Internal medicine	Benign premature ventricular complexes from the right ventricular outflow tract triggered polymorphic ventricular tachycardia in a latent type 2 lqts patient	佐藤光希	循環器内科
Internal medicine	Insulation defects in riata implantable cardioverter-defibrillator leads	佐藤光希	循環器内科
Circulation	A novel disease gene for brugada syndrome: Sarcolemmal membrane-associated protein gene mutations impair intracellular trafficking of hnav1.5	佐藤光希	循環器内科
Europace	Epicardial and endocardial mapping determine most successful site of ablation for ventricular tachyarrhythmias originating from left ventricular summit	飯嶋賢一	循環器内科
Europace	Intramural inflammation as a cause of transient ST-segment elevation in a patient of cardiac sarcoidosis	飯嶋賢一	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine	Mutant mRNA Expression in Endomyocardial Biopsy Sample from a Patient with Cardiac Variant of Fabry Disease Caused by a Novel Acceptor Splice Site Mutation in the Invariant AG of Intron 5 of $\alpha$ -Galactosidase A Gene	埜晴雄	循環器内科
Eur J Haematol	Improvement of anemia with decreasing hepcidin levels following valve replacement for severe tricuspid regurgitation	埜晴雄	循環器内科
Intern Med	Atrioventricular dissociation mimicking pulsus paradoxus and pulsus alternans	蒼森裕美	循環器内科
Heart Vessels	Mechanical alternans in human idiopathic dilated cardiomyopathy is caused with impaired force-frequency relationship and enhanced poststimulation potentiation	柏村健	循環器内科
Circ J	The cholesterol paradox in atrial fibrillation	渡部裕	循環器内科
Int J Cardiol	Scn5a mutation associated with ventricular fibrillation, early repolarization, and concealed myocardial abnormalities	渡部裕	循環器内科
Int J Cardiol	Clinical characteristics and risk of arrhythmia recurrences in patients with idiopathic ventricular fibrillation associated with early repolarization	渡部裕	循環器内科
Circ Arrhythm Electrophysiol	Response to letter regarding article, "electrocardiographic characteristics and scn5a mutations in idiopathic ventricular fibrillation associated with early repolarization"	渡部裕	循環器内科
Int J Cardiol	Electrocardiographic abnormalities and risk of complete atrioventricular block	渡部裕	循環器内科
Circ Arrhythm Electrophysiol	Letter by watanabe and aizawa regarding article, "blood lipid levels, lipid-lowering medications, and the incidence of atrial fibrillation: The atherosclerosis risk in communities (aric) study"	渡部裕	循環器内科
Circ Arrhythm Electrophysiol	A connexin40 mutation associated with a malignant variant of progressive familial heart block type i.	渡部裕	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol	Nifekalant Enlarged the Transmural Activation-Recovery Interval Difference as Well as the Peak-to-End Interval on Surface ECG in a Patient with Short-QT Syndrome	池主雅臣	循環器内科
Pacing Clin Electrophysiol	Exercise-Related QT Interval Shortening with a Peaked T Wave in a Healthy Boy with a Family History of Sudden Cardiac Death	池主雅臣	循環器内科
Pacing Clin Electrophysiol	Epicardial scar in a patient with no apparent heart disease	池主雅臣	循環器内科
Heart Rhythm	The peak-to-end of the T wave in the limb ECG leads reflects total spatial rather than transmural dispersion of ventricular repolarization in an anthopleurin-A model of prolonged QT interval	和泉大輔	循環器内科
J Electrocardiol	The prevalence of early repolarization in Wolf-Parkinson-White syndrome with a special reference to J waves and the effects of catheter ablation	八木原伸江	循環器内科
Heart Vessels	Hypocellularity and insufficient expression of angiogenic factors in implanted autologous bone marrow in patients with chronic critical limb ischemia	小田雅人	循環器内科
J Am Coll Cardiol	Dynamicity of the J-wave in idiopathic ventricular fibrillation with a special reference to pause-dependent augmentation of the J-wave	佐藤光希	循環器内科
J Electrocardiol	Characteristics of electrocardiographic repolarization in acute myocardial infarction complicated by ventricular fibrillation. J Electrocardiol	池主雅臣	循環器内科
Heart Rhythm	Effects of flecainide on exercise-induced ventricular arrhythmias and recurrences in genotype-negative patients with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia.	渡部裕	循環器内科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Coll Cardiol	Long-term follow-up of a pediatric cohort with short QT syndrome.	Villafane J, 渡部裕	循環器内科
Oncologist17:863-870,2012.	Quality of Life with Gefitinib in Patients with EGFR-Mutated Non-Small Cell Lung Cancer: Quality of Life Analysis of North East Japan Study Group 002 Trial.	Saijo Y et al	腫瘍内科
Ann Oncology:24:54-59 ,2013	Updated overall survival results from a randomized phase III trial comparing gefitinib with carboplatin-paclitaxel for chemo-Naïve non-small cell lung cancer with sensitive EGFR gene mutations (NEJ002).	Saijo Y et al.	腫瘍内科
J Gastroenterol Hepatol	P21-activated kinase-2 is a critical mediator of transforming growth factor- $\beta$ -induced hepatoma cell migration.	Sato M	第3内科
Intern Med. 2012;51(9):1027-30. Epub 2012 Apr 29. Intern Med. 2012;51(9):1027-30. Epub 2012 Apr 29.	Primary malignant mesothelioma of the appendix.	Hayashi K, Takamura M, Sato Y, Takahashi K, Sato H, Youkou K, Yokoyama H, Nomoto M, Inoue C, Hasegawa G, Aoyagi Y.	消化器内科
World J Hepatol. 2012 Apr 27;4(4):139-48.	Identification of cellular genes showing differential expression associated with hepatitis B virus infection.	Fukuhara Y, Suda T, Kobayashi M, Tamura Y, Igarashi M, Waguri N, Kawai H, Aoyagi Y	消化器内科
Transplant Proc. 2012 Apr;44(3):806-9.	Hatakeyama K. Magnetic compression anastomosis for bile duct stenosis after donor left hepatectomy: a case report.	Oya H, Sato Y, Yamanouchi E, Yamamoto S, Hara Y, Kokai H, Sakamoto T, Miura K, Shioji K, Aoyagi Y	消化器内科
Dig Dis Sci. 2012 Jun 5. [Epub ahead of print]	Increased Susceptibility to Severe Chronic Liver Damage in CXCR4 Conditional Knock-Out Mice.	Tsuchiya A, Imai M, Kamimura H, Takamura M, Yamagiwa S, Sugiyama T, Nomoto M, Heike T, Nagasawa T, Nakahata T, Aoyagi Y.	消化器内科
Gastric Cancer. 2012 Jul 25. [Epub ahead of print]	Re-evaluation of phenotypic expression in undifferentiated-type early gastric adenocarcinomas using mucin core protein and CDX2.	Ikarashi S, Nishikura K, Ajioka Y, Aoyagi Y.	消化器内科
Surg Today. 2012 Sep 4.[Epub ahead of print]	Successful laparoscopic division of a patent ductus venosus: report of a case.	Hara Y, Sato Y, Yamamoto S, Oya H, Igarashi M, Abe S, Kokai H, Miura K, Suda T, Nomoto M, Aoyagi Y, Hatakeyama K.	消化器内科
BMC Gastroenterol. 2012 Sep 20;12:127.	Phase I study of miriplatin combined with transarterial chemotherapy using CDDP powder in patients with hepatocellular carcinoma.	Kamimura K, Suda T, Tamura Y, Takamura M, Yokoo T, Igarashi M, Kawai H, Yamagiwa S, Nomoto M, Aoyagi Y.	消化器内科
Virus Genes. 2012 Sep 29. [Epub ahead of print]	Human T cell leukemia virus type 2 (HTLV-2) Tax2 has a dominant activity over HTLV-1 Tax1 to immortalize human CD4(+) T cells.	Imai M, Higuchi M, Kawamura H, Yoshita M, Takahashi M, Oie M, Matsuki H, Tanaka Y, Aoyagi Y, Fujii M.	消化器内科
Med Mol Morphol. 2013 Jan 10. [Epub ahead of print] PMID: 23306661 [PubMed - as supplied by publisher]	Involvement of liver-intestine cadherin in cancer progression.	Takamura M, Yamagiwa S, Matsuda Y, Ichida T, Aoyagi Y.	消化器内科
Int J Hepatol. 2012;2012:410781. doi: 10.1155/2012/410781. Epub 2012 Dec 23. PMID: 23320180 [PubMed]	Hepatic angiomyolipoma: diagnostic findings and management.	Kamimura K, Nomoto M, Aoyagi Y	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gene Therapy (2013), 1-8	Novel electric power-driven hydrodynamic injection system for gene delivery: safety and efficacy of human factor IX delivery in rats.	Yokoo T, Kamimura K, Suda T, Kanefuji T, Oda M, Zhang G, Liu D, Aoyagi Y. Yokoo T, Kamimura K, Suda T, Kanefuji T, Oda M, Zhang G, Liu D, Aoyagi Y.	消化器内科
Intern Med. 2013;52(4):457-62. Epub 2013 Feb 15.	Immunoglobulin g4-related disease with several inflammatory foci.	Sakamaki A, Kamimura K, Shioji K, Sakurada J, Nakatsue T, Wada Y, Imai M, Mizuno K, Yamamoto T, Takeuchi M, Sato Y, Kobayashi M, Naito M, Narita I, Aoyagi Y.	消化器内科
Hepato Res. 2012 Dec 26. doi: 10.1111/hepr.12056. [Epub ahead of print]	The Japan Non-B, Non-C Liver Cirrhosis Study Group. Survey of non-B, non-C liver cirrhosis in Japan.	Suzuki Y, Ohtake T, Nishiguchi S, Hashimoto E, Aoyagi Y, Onji M, Kohgo Y.	消化器内科
J Gastroenterol. 2013 Feb 19. [Epub ahead of print]	Magnifying narrow-band imaging of surface maturation in early differentiated-type gastric cancers after Helicobacter pylori eradication.	Kobayashi M, Hashimoto S, Nishikura K, Mizuno KI, Takeuchi M, Sato Y, Ajioka Y, Aoyagi Y.	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2013 Feb 21. doi: 10.1111/jgh.12150. [Epub ahead of print]	P21-activated kinase-2 is a critical mediator of transforming growth factor-β-induced hepatoma cell migration.	Sato M, Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Fujimaki S, Sanpei A, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y.	消化器内科
Gastrointest Endosc. 2013 Feb 27. doi:pil: S0016-5107(13)00009-6. 10.1016/j.gie.2013.01.008. [Epub ahead of print]	Control of severe strictures after circumferential endoscopic submucosal dissection for esophageal carcinoma: oral steroid therapy with balloon dilation or balloon dilation alone.	Sato H, Inoue H, Kobayashi Y, Maselli R, Santi EG, Hayee B, Igarashi K, Yoshida A, Ikeda H, Onimaru M, Aoyagi Y, Kudo SE.	消化器内科
Scientific World Journal. 2013;2013:597095. doi: 10.1155/2013/597095. Epub 2013 Mar 3.	DNA damage sensor γ-H2AX is increased in preneoplastic lesions of hepatocellular carcinoma.	Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y, Sanpei A, Fujimaki S.	消化器内科
Liver Int. 2013 Mar 23. doi: 10.1111/liv.12176. [Epub ahead of print]	Hepatitis B virus X induces cell proliferation in the hepatocarcinogenesis via up-regulation of cytoplasmic p21 expression.	18. Yano M, Ohkoshi S, Aoki YH, Takahashi H, Kurita S, Yamazaki K, Suzuki K, Yamagiwa S, Sanpei A, Fujimaki S, Wakai T, Kudo SE, Matsuda Y,	消化器内科
Ther Apher Dial. 2013 Jun;17(3):298-304	Cause-specific excess mortality among dialysis patients: comparison with the general population in Japan.	Minako Wakasugi	(第二内科)
Clin J Am Soc Nephrol. 2013 Apr;8(4):629-36	Screening of male dialysis patients for fabry disease by plasma globotriaosylsphingosine.	Hiroki Maruyama	(第二内科)
Intern Med 2012; 51: 425-429.	Hypogammaglobulinemic patient with polyarthritis mimicking rheumatoid arthritis finally diagnosed as septic arthritis caused by Mycoplasma hominis.	Hiroe Sato	(第二内科)
BMC research notes 2013; 6: 231.	Distribution of amyloid deposits in the kidneys of a patient with reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis.	Takeshi Kuroda	(第二内科)
Intern Med 2013; 52: 1379-1382.	Persistent metabolic acidosis in a hemodialyzed patient with short bowel syndrome.	Ryo Koda	(第二内科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer 2013.	The efficacy of triplet antiemetic therapy with 0.75 mg of palonosetron for chemotherapy-induced nausea and vomiting in lung cancer patients receiving highly emetogenic chemotherapy.	Satoru Miura	(第二内科)
Nephrol Dial Transplant 2012; 27: 2755-2761.	Light-microscopic characteristics of IgG4-related tubulointerstitial nephritis: distinction from non-IgG4-related tubulointerstitial nephritis.	Kazuhiro Yoshita	(第二内科)
Clin Calcium 2012; 22: 1089-1098.	Kidney and bone update : the 5-year history and future of CKD-MBD. Treatment for dialysis-related amyloidosis update	Suguru Yamamoto	(第二内科)
J Rheumatol 2012; 39: 1517-1523.	Procalcitonin is a specific marker for detecting bacterial infection in patients with rheumatoid arthritis.	Hiroe Sato	(第二内科)
Intern Med 2012; 51: 2917-2922.	Acute tubulointerstitial nephritis with multiple organ involvement including fatal adrenalitis: a case report with autopsy findings.	Ryo Koda	(第二内科)
Mod Rheumatol 2012.	A case of Epstein-Barr virus-related lymphadenopathy mimicking the clinical features of IgG4-related disease.	Yoko Wada	(第二内科)
J Bone Miner Metab. 2013 May;31(3):315-21.	Increased risk of hip fracture among Japanese hemodialysis patients.	Minako Wakasugi	(第二内科)
Hypertens Res. 2013 Apr;36(4):328-33.	A combination of healthy lifestyle factors is associated with a decreased incidence of chronic kidney disease: a population-based cohort study.	Minako Wakasugi	(第二内科)
Nephron Exp Nephrol 2012; 120: e1-11.	Quantitative histological analysis of SM22alpha (transgelin) in an adriamycin-induced focal segmental glomerulosclerosis model.	Xie Wang	(第二内科)
Allergol Int. 2012 Dec;61(4):609-17.	Efficacy of using the Japanese version of the asthma control test for determining the level of asthma control in clinical settings.	Takashi Hasegawa	(第二内科)
Allergol Int. 2012 Sep;61(3):475-87.	Analysis of depression in asthmatic patients using the Japanese version of Patient Health Questionnaire-9.	Takashi Hasegawa	(第二内科)
Clin Transplant. 2012 Jul;26 Suppl 24:25-31	Pentraxin-3 expression in acute renal allograft rejection.	Naofumi Imai	(第二内科)
Ther Apher Dial. 2012 Jun;16(3):226-31	High mortality rate of infectious diseases in dialysis patients: a comparison with the general population in Japan.	Minako Wakasugi	(第二内科)
J Rheumatol. 2012 Jul;39(7):1348-54.	Treatment with biologic agents improves the prognosis of patients with rheumatoid arthritis and amyloidosis.	Takeshi Kuroda	(第二内科)
Clin Exp Nephrol. 2012 Oct;16(5):749-54.	Differences in the local and national prevalences of chronic kidney disease based on annual health check program data.	Minako Wakasugi	(第二内科)
Clin Exp Nephrol. 2012 Apr;16(2):259-68.	Weight gain after 20 years of age is associated with prevalence of chronic kidney disease.	Minako Wakasugi	(第二内科)
Rheumatol Int. 2012 Oct;32(10):3155-62	Significant association between renal function and area of amyloid deposition in kidney biopsy specimens in reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis.	Takeshi Kuroda	(第二内科)
Intern Med. 2012;51(6):567-74	Asthma control and management changes in Japan: questionnaire survey.	Takashi Hasegawa	(第二内科)
Am J Respir Cell Mol Biol 2012.	A Novel Prostacyclin Agonist Protects to Airway Hyperresponsiveness and Remodeling in Mice.	Cristine Yamabayashi	(第二内科)
Int Immunol. 2012 Apr;24(4):219-32	Integrin $\alpha 1 / \beta 1$ and $\alpha 2 / \beta 1$ as a receptor for IgA1 in human glomerular mesangial cells in IgA nephropathy.	Yoshikatsu Kaneko	(第二内科)
Blood 2012; 120: 2417-2427.	Depletion of radio-resistant regulatory T cells enhances antitumor immunity during recovery from lymphopenia.	Junko Baba	(第二内科)
Clin Exp Allergy 2012; 42: 946-957.	IL-17 eliminates therapeutic effects of oral tolerance in murine airway allergic inflammation.	Hidenori Kawakami	(第二内科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Allergol Int 2012; 61: 489-496.	Influence of underweight on asthma control.	Toshitaka Furukawa	(第二内科)
Clin Transplant 2012; 26 Suppl 24: 25-31.	Pentraxin-3 expression in acute renal allograft rejection.	Naofumi Imai	(第二内科)
Mod Rheumatol 2012.	A case of MPO- and PR3-ANCA-positive hypertrophic cranial pachymeningitis with elevated serum IgG4.	Akira Iguchi	(第二内科)
Vaccine 2012; 30: 6190-6197.	Epitope diversification driven by non-tumor epitope-specific Th1 and Th17 mediates potent antitumor reactivity.	Hiromasa Ichikawa	(第二内科)
Rheumatol Int. 2012 Apr;32(4):933-9.	Association between clinical parameters and amyloid-positive area in gastroduodenal biopsy in reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis.	Takeshi Kuroda	(第二内科)
Therapeutic Research 33巻8号 Page1162-1163(2012.08)	末期腎不全患者HDLは動脈硬化病変におけるマクロファージの泡沫細胞化を促進する	山本 卓	(第二内科)
新潟県医師会報 754号 Page7-8(2013.01)	ダニ抗原誘発性マウス喘息モデルにおける舌下免疫療法の検討	島 賢治郎	(第二内科)
日本臨床 71巻増刊1 血管炎 Page526-529(2013.02)	【血管炎-基礎と臨床のクロストーク】最新の研究トピックス AP-VAS 2012から 血管炎の臨床研究 血清アンギオポエチン-2値と ANCA関連血管炎の活動性、腎機能	和田 庸子	(第二内科)
中部リウマチ 42巻1号 Page62-63(2012.10)	C型肝炎合併関節リウマチにインフリキシマブが安全かつ有効であった1例	黒田 毅	(第二内科)
中部リウマチ 42巻1号 Page44-45(2012.10)	アミロイド症における各生物学的製剤の有効性	黒田 毅	(第二内科)
中部リウマチ 42巻1号 Page28-29(2012.10)	関節リウマチにおける長期的な関節破壊進行と抗CCP抗体の関連について	佐藤 弘恵	(第二内科)
中部リウマチ 42巻1号 Page26-27(2012.10)	関節リウマチの関節破壊進行における性差についての検討	佐藤 弘恵	(第二内科)
中部リウマチ 41巻2号 Page50-51(2012.07)	RA、SLEにおける可溶性TNF受容体の測定意義	中野 正明	(第二内科)
Psychiatry Res 196(2-3): 320-322, 2012.	A detailed association analysis between the tryptophan hydroxylase 2 (TPH2) gene and autism spectrum disorders in a Japanese population.	Egawa J, Watanabe Y, Nunokawa A, Endo T, Kaneko N, Tamura R, Sugiyama T, Someya T:	精神科
Genet Mol Res 11(2): 1142-1145, 2012.	Case-control study and meta-analysis of Ser311Cys polymorphism in the DRD2 gene demonstrate lack of association with risk for schizophrenia in the Japanese population.	Watanabe Y, Nunokawa A, Kaneko N, Shibuya M, Egawa J, Fukui N, Someya T:	精神科
Schizophr Res 137(1-3): 264-266, 2012.	A two-stage case-control association study between the tryptophan hydroxylase 2 (TPH2) gene and schizophrenia in a Japanese population.	Watanabe Y, Egawa J, Iijima Y, Nunokawa A, Kaneko N, Shibuya M, Arinami T, Ujike H, Inada T, Iwata N, Tochigi M, Kunugi H, Itokawa M, Ozaki N, Hashimoto R, Someya T:	精神科
Psychiatry Res 197(3): 358-359, 2012.	Exploration of a possible association between the tryptophan hydroxylase 2 (TPH2) gene and panic symptoms induced by carbon dioxide in healthy individuals.	Abe R, Watanabe Y, Tachibana A, Nunokawa A, Shindo M, Hasegawa N, Someya T:	精神科
J Clin Psychopharmacol 32(3): 390-393, 2012.	Dysregulation of adipocytokines related to second-generation antipsychotics in normal fasting glucose patients with schizophrenia.	Sugai T, Suzuki Y, Fukui N, Ono S, Watanabe J, Tsuneyama N, Someya T:	精神科
Psychiatry Res 198(2): 336-337, 2012.	Influence of the 5-HTR1A C-1019G polymorphism on clinical phenotypes of autism spectrum disorders.	Egawa J, Endo T, Tamura R, Masuzawa N, Fukui N, Sugai T, Someya T:	精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Clin Neurosci 66(5): 454-456, 2012.	Early psychological distress among sufferers after the 2011 Northern Nagano Prefecture Earthquake.	Shindo M, Kitamura H, Tachibana A, Honma H, Someya T:	精神科
Psychiatry Res Neuroimaging 203(2-3): 237-240, 2012.	Decreased leftward bias of prefrontal activity in autism spectrum disorder revealed by functional near-infrared spectroscopy.	Tamura R, Kitamura H, Endo T, Abe R, Someya T:	精神科
Gen Hosp Psychiatry 34(5): 525-528, 2012.	The lipid profiles in Japanese patients with schizophrenia treated with antipsychotic agents.	Watanabe J, Suzuki Y, Sugai T, Fukui N, Ono S, Tsuneyama N, Saito M, Someya T:	精神科
Schizophr Res 141(2-3): 279-280, 2012.	Supportive evidence for the association between the Gln2Pro polymorphism in the SIGMAR1 gene and schizophrenia in the Japanese population: A case-control study and an updated meta-analysis.	Watanabe Y, Nunokawa A, Kaneko N, Shibuya M, Egawa J, Someya T:	精神科
J Clin Psychopharmacol 32(6): 750-755, 2012.	Excessive insulin secretion in Japanese schizophrenic patients treated with antipsychotics despite normal fasting glucose levels.	Sugai T, Suzuki Y, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Tsuneyama N, Someya T:	精神科
Pharmacogenomics J 12(6): 507-512, 2012.	Association between the GIPR gene and the insulin level after glucose loading in schizophrenia patients treated with olanzapine.	Ono S, Suzuki Y, Fukui N, Sugai T, Watanabe J, Tsuneyama N, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 66(7): 622, 2012.	Oxytocin receptor (OXTR) gene and risk of schizophrenia: Case-control and family-based analyses and meta-analysis in a Japanese population.	Watanabe Y, Kaneko N, Nunokawa A, Shibuya M, Egawa J, Someya T:	精神科
Hum Psychopharmacol Clin Exp 28(1): 94-96, 2013.	Changes in QT interval after switching to quetiapine in Japanese patients with schizophrenia.	Suzuki Y, Sugai T, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Tsuneyama N, Saito M, Someya T:	精神科
J Occup Health 55(1): 1-5, 2013.	Personality and resilience associated with perceived fatigue of local government employees responding to disasters.	Kitamura H, Shindo M, Tachibana A, Honma H, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 67(2): 123-125, 2013.	Association of the BDNF C270T polymorphism with schizophrenia: Updated meta-analysis.	Watanabe Y, Nunokawa A, Someya T:	精神科
Hum Psychopharmacol Clin Exp 28(2): 188-191, 2013.	Low prevalence of metabolic syndrome and its prediction in Japanese inpatients with schizophrenia.	Suzuki Y, Sugai T, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Tsuneyama N, Saito M, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 66(3): 244, 2012.	Improvement in QTc prolongation induced by zotepine following a switch to perospirone.	Suzuki Y, Watanabe J, Sugai T, Fukui N, Ono S, Tsuneyama N, Saito M, Someya T:	精神科
J Clin Pharm Ther 37(3): 370-372, 2012.	Improvement of tardive dyskinesia and dystonia associated with aripiprazole following a switch to quetiapine: Case report and review of the literature.	Ono S, Suzuki Y, Shindo M, Endo T, Fukui N, Sugai T, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 66(4): 370-371, 2012.	Improvement in quetiapine-induced hypoglycemia following a switch to blonanserin.	Suzuki Y, Tsuneyama N, Sugai T, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Saito M, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 66(6): 534-535, 2012.	Quetiapine-induced insulin resistance after switching from blonanserin despite a loss in both body weight and waist circumference.	Suzuki Y, Sugai T, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Tsuneyama N, Saito M, Someya T:	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 67(2): 129-130, 2013.	Manic symptoms associated with pregabalin in a patient with conversion disorder.	Yukawa T, Suzuki Y, Fukui N, Otake M, Sugai T, Someya T:	精神科
Gen Hosp Psychiatry 35(2): 213, 2013.	Prolongation of idiopathic thrombocytopenic purpura associated with paroxetine administration.	Ono S, Suzuki Y, Someya T:	精神科
Curr Atheroscler Rep 15(1): 292, 2013.	Lipid effects of psychiatric medications.	Watanabe J, Suzuki Y, Someya T:	精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床精神薬理 15(11): 1857-1862, 2012.	精神科病棟入院が統合失調症患者の体重及び糖代謝に与える影響.	三上剛明, 鈴木雄太郎, 田尻美寿々, 國塚拓郎, 安部弘子, 染矢俊幸:	精神科
ミルタザピンのすべて(小山司, 樋口輝彦編). pp46-52. 先端医学社, 東京, 2012.	ミルタザピンの薬物動態と代謝からみた効果発現 -SSRI, SNRIとの相違.	須貝拓朗, 染矢俊幸:	精神科
副作用軽減化 新薬開発. pp345-349, 技術情報協会, 東京, 2012.	不整脈/トルサード・ド・ポアント.	渡邊純蔵, 染矢俊幸:	精神科
副作用軽減化 新薬開発. pp350-356, 技術情報協会, 東京, 2012.	肥満, 糖・脂質代謝異常.	須貝拓朗, 染矢俊幸:	精神科
脳科学事典(田中啓治, 御子柴克彦編). <a href="http://bsd.neuroinf.jp/wiki/">http://bsd.neuroinf.jp/wiki/</a> 2013.	精神疾患.	北村秀明, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(5): 707-708, 2012.	強迫性障害に対して aripiprazole は有効か? また, 他の抗精神病薬と比較して有効性に差があるか?	林剛丞, 小野信, 染矢俊幸:	精神科
精神科治療学 27(5): 633-638, 2012.	ストレス関連障害の特徴を示す自閉症スペクトラムの成人例.	遠藤太郎, 染矢俊幸:	精神科
臨床薬理 43(3): 151-156, 2012.	新規抗精神病薬の身体リスクとその対応.	須貝拓朗, 鈴木雄太郎, 福井直樹, 渡邊純蔵, 小野信, 常山暢人, 斎藤摩美, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(6): 935-944, 2012.	薬理遺伝学からみた ADHD 治療の最適化.	杉本篤言, 遠藤太郎, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(7): 1159-1160, 2012.	統合失調症患者の喫煙や禁煙に及ぼす抗精神病薬の影響について知りたい.	保谷智史, 渡邊純蔵, 染矢俊幸:	精神科
日本精神科病院協会雑誌 31(7): 729-735, 2012.	抗精神病薬治療と身体リスクに関する合同プロジェクト活動報告.	須貝拓朗, 菅原典夫, 鈴木雄太郎, 古郡規雄, 下田和孝, 尾関祐二, 森隆夫, 南良武, 岡本吳賦, 寒河江豊昭, 松田ひろし, 山崎學, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(8): 1267-1275, 2012.	薬物治療の根拠と理論: 薬物治療と生物学的・薬理学的理解とのクロストーク.	渡部雄一郎, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(8): 1325-1334, 2012.	ADHD の薬理学的理解と臨床への活用.	杉本篤言, 遠藤太郎, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(9): 1503-1505, 2012.	抗精神病薬による白血球減少の実態について教えてほしい.	井桁裕文, 常山暢人, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神医学 41(9): 1241-1246, 2012.	災害報道の心理的影響 -東日本大震災の津波映像を見て突然想起された被災体験例から-	北村秀明, 橋本, 新藤雅延, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神医学 41(9): 1309-1313, 2012.	自然災害の被災者における Posttraumatic Growth.	北村秀明, 橋本, 新藤雅延, 染矢俊幸:	精神科
精神科診断学 5(1): 81-88, 2012.	被災者の精神健康に影響する心理社会的要因: ソーシャル・キャピタルと放射線被ばく不安.	北村秀明, 染矢俊幸:	精神科
新潟医学会雑誌 126(10): 525-529, 2012.	発達障害の併存症 -気分障害と不安障害を中心に-	遠藤太郎, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 15(11): 1809-1810, 2012.	抗精神病薬使用中の認知症患者の死亡リスクについて.	須貝拓朗, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 16(1): 79-81, 2013.	身体醜形障害の薬物治療について.	三上剛明, 須貝拓朗, 染矢俊幸:	精神科
臨床精神薬理 16(3): 377-379, 2013.	強迫性障害に対する mirtazapine の有効性について.	井桁裕文, 小野信, 染矢俊幸:	精神科
精神科治療学 28(3) 287-294, 2013.	Atomoxetine の薬理とおとなの ADHD への効果.	杉本篤言, 遠藤太郎, 染矢俊幸:	精神科
Emerging Infectious Disease Journal	Rhabdomyolysis Associated with Antimicrobial Drug Resistant Mycoplasma pneumoniae.	大石智洋	小児科
Vaccine	Opsonic activity to the infecting serotype in pediatric patients with invasive pneumococcal disease.	大石智洋	小児科
Am J Med Genet A	Radiological clues to the early diagnosis of hypochondroplasia in the neonatal period: Report of two patients.	齋藤朋子	小児科
Pediatr Cardiol	Two cases of new coronary aneurysms that developed in the late period after kawasaki disease	小澤淳一	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌	極低出生体重児における早期低CO2血症が3歳時の発達予後に与える影響についての検討	小林玲	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中部リウマチ	当院リウマチ外来患者におけるTNF阻害薬の継続性の検討	近藤直樹	整形外科
骨粗鬆症治療	脆弱性骨折の連鎖とは	遠藤直人	整形外科
Spine	Variation of the position of the aorta relative to a kyphotic thoracic spine: Safety margin for pedicle screw placement in the adult Japanese population	大橋正幸	整形外科
整形外科	変形性股関節症例と健常例における前骨盤平面を基準とした大腿骨頸部前捻角の違い	宮坂 大	整形外科
新潟整外研究会誌	infrapatellar contracture syndrome に対して創外固定器による治療を行った1例	山際浩史	整形外科
新潟整外研究会誌	腰仙部神経根奇形を合併した腰椎変形性疾患に対する手術治療経験	渡邊 慶	整形外科
MB Orthop	SSBT(骨代謝回転の過剰抑制)と非典型骨折	近藤直樹	整形外科
関節外科	薬物療法の治療	遠藤直人	整形外科
運動療物理療	変形性膝関節症に対する大腿四頭筋評価の指標化およびリハビリテーションプログラムの作成とその応用	大森 豪	整形外科
新潟医学会誌	小児骨軟部腫瘍とquality of life(QOL)	生越 章	整形外科
日形会誌	Nuss法術後に生じたバー挿入部皮膚陥凹変形症例の検討	飛澤泰友	形成外科
日形会誌	前頭骨板間層皮様嚢腫の1例	飛澤泰友	形成外科
新潟医学会誌	各種指数を用いた漏斗胸に対するNuss法術後形態評価の検討	飛澤泰友	形成外科
新潟整外研究会誌	腹直筋皮弁、大腿直筋・大腿筋膜張筋弁により再建した左鼠径部から側腹部臀部の軟部肉腫の1例	斎藤利香	形成外科
日英外報	微量な脂肪注入が可能な補助器具の使用経験	宮田昌幸	形成外科
形成外科	非上皮性良性腫瘍に関するクリニカルクエッションを作成して	坂村律生(但し3番目)	形成外科
J Plast Surg Hand Surg	Morphological assessment of early axonal regeneration in end-to-side nerve coaptation models	親松宏	形成外科
臨床栄養	成人用ヒューバー針によりポート後壁破損をきたした在宅静脈経腸栄養管理の2例	小林久美子	小児外科
J Pediatr Surg	Tracheoplasty using a metallic fusiform centrally-doubled coiled stent for a major tracheal defect in rabbits.	Kubota M	小児外科
日本皮膚科学会雑誌	全身性疾患と脱毛症	苅谷直之	皮膚科
医学のあゆみ	これだけは知っておきたい接触皮膚炎の基礎知識 金属アレルギーとパッチテスト 歯科との連携の重要性	伊藤明子	皮膚科
JCDSA	Allergic Contact Dermatitis Syndrome Due to Tocopherol Acetate, in Addition to Glycyrrhetic Acid	Ohoko K	皮膚科
新潟県医師会報	蛋白質導入によって形質膜近傍に留まる非疎水性シグナルタグを利用したメラノソーム輸送機序の検討	大湖健太郎	皮膚科
加齢皮膚医学セミナー	高齢者の掌蹠膿疱症における、貼付試験陽性金属の検討	大湖健太郎	皮膚科
Eur J Dermatol	A case of Netherton syndrome showing a large clinical overlap with generalized inflammatory peeling skin syndrome	Farooq M	皮膚科
J Invest Dermatol	Characterization of human keratin-associated protein 2(KRTAP2) gene family	Fujikawa H	皮膚科
Br J Dermatol	A novel mutation in the PLCD1 gene, which leads to an aberrant splicing event, underlies autosomal recessive leukonychia	Farooq M	皮膚科
J Invest Dermatol	A missense mutation within the helix initiation motif of the keratin K71 gene underlies autosomal dominant woolly hair/hypotrichosis	Fujimoto A	皮膚科
日本化粧品学会誌	毛器官の構造と機能	伊藤雅章	皮膚科
日本化粧品学会誌	毛髪における遺伝子の最新知見	下村 裕	皮膚科
Dermatology	Identification of two novel mutation in the SLC29A3 encoding an equilibrative nucleotide transporter(hENT3), in two distinct Syrian families with H syndrome: Expression studies of SLC29A3(hENT3) in human skin	Farooq M	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Dermatol Sci	GJB6, of which mutation underlie Clouston syndrome, is a potential direct target gene of p63	Fujimoto A	皮膚科
Hum Mutat	Mutation analysis of the IL36RN gene in 14 Japanese patient with generalized pustular psoriasis	Farooq M	皮膚科
BR J Dermatol	Functional studies for the TRAF6 mutation associated with hyohidrotic ectodermal dysplasia	Fujikawa H	皮膚科
MB Derma	遺伝性脱毛症	下村 裕	皮膚科
臨床皮膚科	縮毛とLIPH	下村 裕	皮膚科
日本美容皮膚科学会雑誌	毛の構造と機能	下村 裕	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌	先天性毛髪異常症のupdate:日本人に多い疾患を中心に	下村 裕	皮膚科
Visual Dermatology	毛の構造と機能	下村 裕	皮膚科
Growth Hormone & IGF Research	Deficiency in androgens and upregulation of insulin-like growth factor-1 are involved in high bone turnover in men receiving androgen deprivation therapy for prostate cancer	Fumio Ishizaki	泌尿器科
The Prostate	Altered Association of Interleukin-6 With Sex Steroids in Lipid Metabolism Disorder in Men With Prostate Cancer Receiving Androgen Deprivation Therapy	Shuichi Komatsu	泌尿器科
DIAGNOSTIC PATHOLOGY	Prediction of pathological and oncological outcomes based on extended prostate biopsy results in patients with prostate cancer receiving radical prostatectomy: a single institution study	Fumio Ishizaki	泌尿器科
Urologic Oncology: Seminars and Original Investigations	Insulin-like growth factor-1 is associated with regulation of the luteinizing hormone production in men receiving androgen deprivation therapy with gonadotropin-releasing hormone analogues for localized prostate cancer	Noboru Hara	泌尿器科
BMC Urology	Retroperitoneoscopic donor nephrectomy with a gel-sealed hand-assist access device	Kei Arai	泌尿器科
UROLOGY	Decrease in Lean Body Mass in Men With Prostate Cancer Receiving Androgen Deprivation Therapy: Mechanism and Biomarkers	Noboru Hara	泌尿器科
腎と透析	超長期透析患者の移植	中川由紀	泌尿器科
腎と透析	腎移植前後の水代謝	中川由紀	泌尿器科
泌尿器外科	新潟大学における、前立腺癌高線量率組織内照射療法の初期治療経験	笠原 隆	泌尿器科
日本小児腎不全学会雑誌	総排泄腔遺残症に対する腎移植の2症例	中川由紀	泌尿器科
日本腎臓学会誌	新しい免疫抑制薬-mTOR阻害薬とサイモグロブリン	中川由紀	泌尿器科
眼科手術25(2):271-274	強膜半層切開に縫着糸の結び目を埋没させる眼内レンズ縫着の新しい方法	長谷部 日	眼科
臨床眼科66(1):49-56	内斜視で発見された小児の橋神経腫の3例	羽入 貴子	眼科
日本眼科学会雑誌117:338	緑内障治療患者における角膜上皮障害	梶野 哲哉	眼科
眼科手術(3):456-460	眼窩壁骨折の頑性再建に対するメッシュ状吸収性プレート(LactoSorb)の使用経験	尾山 徳秀	眼科
日本リンパ網内系学会誌52(101)	新潟大学における原発性眼内悪性リンパ腫の経過と予後	尾山 徳秀	眼科
日本リンパ網内系学会誌52(120)	新潟大学における原発性眼内悪性リンパ腫の経過と予後	尾山 徳秀	眼科
臨床眼科66(3):355-360	全身悪性リンパ腫の視神経乳頭浸潤に対してメトレキサート硝子体腔注射が有効であった1例	大湊 絢	眼科
あたらしい眼科29(7):969-975	Patient-Centered Communication(PCC)Toolとしての緑内障治療アンケート	末武 亜紀	眼科
あたらしい眼科29(5):613-619	眼圧上昇はなぜ起こる?続発緑内障の眼圧上昇機序とその対策-開放隅角の場合	芳野 高子	眼科
Jpn J Ophthalmol 57(2):172-178	Eyelid and eyelash changes due to prostaglandin analog therapy in unilateral treatment cases	芳野 高子	眼科
BMC Ophthalmology20;12:3	Fibrin membrane pupillary-block glaucoma after uneventful cataract surgery treated with intracameral tissue plasminogen activator: a case report	吉野 秀昭	眼科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本ロービジョン学会誌11:17-22	遮光眼鏡処方の実際	石井 雅子	眼科
日本ロービジョン学会誌12(33-40)	弱視レンズの選定と訓練	石井 雅子	眼科
音声言語医学	高次聴覚機能とその画像評価	泉 修司	耳鼻咽喉科頭頸部外科
Equilibrium Research	特異な頭位でめまい、眼振が誘発された延髄腹側嚢胞の1例	宮尾益道	耳鼻咽喉科頭頸部外科
ENT臨床フロンティア 急性難聴の鑑別とその対処	問診・視診でどこまでわかるか、鼓膜所見からどこまでわかるか	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
The Journal of International Advanced Otology	Transplanted cholesteatoma after traumatic tympanic membrane perforation	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
Otology Japan	先天性真珠腫症例の臨床像と治療戦略	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
ENTONI	耳管開放症は耳管狭窄症とどう違うのか？ 耳管開放症と耳管狭窄症の診断：私はこうしている	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
ENT臨床フロンティア 実践的耳鼻咽喉科検査法	実践的X線画像診断 耳	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
JOHNS	特集 手術適応の決定と術前検査手術適応と術前検査 慢性中耳炎、鼓膜穿孔	高橋邦行	耳鼻咽喉科頭頸部外科
日本鼻科学会誌	鼻副鼻腔に進展した前頭蓋底髄膜腫の2症例	山岸達矢	耳鼻咽喉科頭頸部外科
新潟医学会雑誌	耳鼻咽喉科における内視鏡を用いた低侵襲手術 —副鼻腔手術を中心に—	野村智幸	耳鼻咽喉科頭頸部外科
日本口腔・咽頭科学会雑誌	繊維索性唾液管炎の3例	土屋昭夫	耳鼻咽喉科頭頸部外科
小児耳鼻咽喉科	小児難治症状への対応 当科での小児睡眠呼吸障害の治療方針	相澤直孝	耳鼻咽喉科頭頸部外科
小児の睡眠呼吸障害マニュアル	姿勢と睡眠呼吸障害	相澤直孝	耳鼻咽喉科頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	喉頭癌IV期症例の検討	佐藤克郎	耳鼻咽喉科頭頸部外科
頭頸部外科	放射線治療3年後に喉頭壊死を生じた喉頭癌の1例	山崎恵介	耳鼻咽喉科頭頸部外科
JOHNS	症例をどうみるか floppy epiglottis を呈した多系統萎縮症例	相澤直孝	耳鼻咽喉科頭頸部外科
ENTONI	耳鼻咽喉科外用薬 up date 慢性中耳炎の外用薬治療	山本 裕	耳鼻咽喉科頭頸部外科
J Obstet Gynaecol Res.	Pregnancy complicated by uterine sacculation due to a huge myoma.	Shima E	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Ovarian pregnancy resulting from cryopreserved blastocyst transfer.	Kashima K.	産婦人科
Hum Reprod.	Possible involvement of the E-cadherin gene in genetic susceptibility to endometriosis.	Yoshida K	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Histology-specific long-term trends in the incidence of ovarian cancer and borderline tumor in Japanese females: a population-based study from 1983 to 2007 in Niigata.	Yahata T	産婦人科
Clin Cancer Res.	High-risk ovarian cancer based on 126-gene expression signature is uniquely characterized by downregulation of antigen presentation pathway.	Yoshihara K	産婦人科
産科と婦人科	妊娠中に症候性胆石を発症した2例	竹越 公美	産科婦人科
J.obstet.Gynacol.Res.	Pregnancy complicated by uterine sacculation due to a huge myoma	島 英里	産科婦人科
nature genetics	Genome-wide association meta-analysis identifies new endometriosis risk loci	Dale R Nyholt(田中憲一)	産科婦人科
HORMONE FRONTIER	子宮内膜症感受性遺伝子	安達 聡介	産科婦人科
Pediatric Dermatology	Twins with neonatal pemphigus vulgaris born to a mother with pemphigus vulgaris : A case report	五日市美奈	産科婦人科
Open Journal of obstetrics and Gynecology	A case of a patient positive for anticardiolipin antibodies with recurrent fetal wastage and cerebral infarction who was successfully treated with Sairei-to, low dose aspirin, and heparin	能仲 太郎	産科婦人科
臨床婦人科産科	ワンテック上の漢方診療 不育症	高桑 好一	産科婦人科
インフルエンザの最新知識 Q&A 2012 パンデミックH1N1 2009終焉を迎え	パンデミックH1N1 2009の疫学と臨床像 Q14 臨床像?産科	高桑 好一	産科婦人科
周産期の生理と異常 改定第2版 イラストで学ぶ 妊娠・分娩・産褥の生理	第2章妊娠に伴う母体の変化 10 免疫系の変化	高桑 好一	産科婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin. Cancer Res	High-risk ovarian cancer based on 126-gene expression signature is uniquely characterized by down-regulation of antigen presentation pathway.	吉原 弘祐	産科婦人科
Anesthesiology	Effect of xenon on excitatory and inhibitory transmission in rat spinal Ventral Horn Neurons	Yamamoto T, Honda H, Baba H, Kohno T	麻酔科
Molecular pain	Milnacipran inhibits glutamatergic N-Methyl-D-Aspartate receptor activity in Spinal Dorsal Horn Neurons	Kohno T, Kimura M, Sasaki M, Obata H, Amaya F, Saito S	麻酔科
Anesth Analg	The Mu Opioid Receptor Modulates Neurotransmission in the Rat Spinal Ventral Horn	Honda H, Kawasaki Y, Baba H, Kohno T	麻酔科
麻酔	仙骨部巨細胞腫切除術に大動脈遮断バルーンカテーテルを使用した2症例	本田博之、吉田敬之、渋谷智栄子、馬場洋	麻酔科
麻酔	術中に腕神経 障害を生じたエーラス・ダンロス症候群患者の1症例	大橋宣子、古谷健太、石井秀明、馬場洋	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌	偽性コリンエステラーゼ欠損患者に対する硬膜外麻酔併用全静脈麻酔の経験	渡部達範、生駒美穂、渋谷智栄子、馬場洋	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌	気道確保に注意を要した小児巨大喉頭乳頭腫の1例	大西毅、飛田俊幸、馬場洋	麻酔科
Cardiovascular Anesth	組織ドブラ	今井英一	麻酔科
麻酔	局所麻酔薬のナトリウムチャンネル以外の受容体に対する拮抗作用	古谷健太、河野達郎	麻酔科
Neuropathology32(2):196-201, 2012	Epidermoid cyst involving the medial temporal lobe: Surgical pathologic features of the epileptogenic lesion	Hiraishi T, Oishi M, Kitaura H, Ryufuku M, Fu YJ, Fukuda M, Takahashi H, Fujii Y, Kakita A	脳神経外科
Neuropathology(32): 174-179, 2012	Lymphoplasmacyte-rich meningioma: A convexity mass with regional enhancement in the adjacent brain parenchyma	Nakayama Y, Watanabe M, Suzuki K, Kawaguchi T, Usuda H, Emura I, Toyoshima Y, Takahashi H, Kakita	脳神経外科
Childs Nerv Syst 28: 707-713, 2012	The effects of temozolomide delivered by prolonged intracerebral microinfusion against the rat brainstem GBM allograft model	Yoshimura J, Siu I-M, Thomale U-W, Jallo GI	脳神経外科
Journal of NeuroInterventional Surgery, 2012	A carving method to determine an optimal working projection using three-dimensional volume rendering digital subtraction angiography in coil embolization of cerebral aneurysms	Kitazawa K, Sorimachi T, Ito Y, Fujii Y	脳神経外科
Neuroradiology 54(6):653-656, 2012	Ictal focal hyperperfusion demonstrated by arterial spin-labeling perfusion MRI in partial epilepsy status	Oishi M, Ishida G, Morii K, Hasegawa K, Sato M, Fujii Y	脳神経外科
J. Biomed. Opt. Jul 06, 2012	Movement-related cortical activation with voluntary pinch task: simultaneous monitoring of near-infrared spectroscopy signals and movement-related cortical potentials	Sato Y, Fukuda M, Oishi M, Fujii Y	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien)154(8):1523-1525	An organic light-emitting diode display for use in neuroendoscopic surgery in the ventricle	Nishiyama K, Sano M, Jingui S, Harada A, Yoshimura J, Fujii	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 52: 570-576, 2012	Effectiveness of Maximal Safe Resection for Glioblastoma Including Elderly and Low Karnofsky Performance Status Patients: Retrospective Review at a Single Institute	Uzuka T, Aoki H, Natsumeda M, Takahashi H, Fujii Y	脳神経外科
J Neurosurg 117:555-565, 2012	Interactive virtual simulation using a 3D computer graphics model for microvascular decompression surgery	Oishi M, Fukuda M, Hiraishi T, Yajima N, Sato Y, Fujii Y	脳神経外科
Brain Lang.123(1):64-7, 2012	Hemodynamic and electrophysiological connectivity in the language system: simultaneous near-infrared spectroscopy and electrocorticography recordings during cortical stimulation	Sato Y, Fukuda M, Oishi M, Fujii Y	脳神経外科
Surg Neurol Int 118:1023-28, 2012	Monitoring of abnormal muscle response and facial motor evoked potential during microvascular decompression for hemifacial spasm	Fukuda M, Oishi M, Takao T, Hiraishi T, Sato Y, Fujii Y	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg Pediatr. 11(1):68-73, 2013	Occurrence of metachronous pure germinomas long after treatment of a mixed germ cell tumor containing yolk sac tumor and germinoma	Jinguji S, Okamoto K, Yoshimura J, Yoneoka Y, Ogura R, Saito A, Fujii Y	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien). 155(1):119-124, 2013	Endoscopic biopsies of lesions associated with a thickened pituitary stalk	Jinguji S, Nishiyama K, Yoshimura J, Yoneoka Y, Harada A, Sano M, Fujii Y	脳神経外科
新潟医学会雑誌 126(2): 71-75, 2012	髄芽腫の治療成績と今後の展望	西山健一、吉村淳一、藤井幸彦	脳神経外科
脳神経外科速報 22(8): 910-915, 2012	神経内視鏡下中脳水道形成術	西山健一、藤井幸彦	脳神経外科
脳神経外科速報 22(9): 1024-1031, 2012	Onyxを用いたAVM塞栓術	伊藤 靖	脳神経外科
小児の脳神経37(3): 251-257, 2012	脳神経外科治療における胎児MRIの役割	原田敦子、西山健一、吉村淳一、岡本浩一郎、森宏、淡路正則、稲川正一、藤井幸彦	脳神経外科
小児の脳神経37(3): 243-250, 2012	小児期発症の頭蓋内胚腫患者の長期予後.	神宮字伸哉、吉村淳一、青木洋、長崎啓祐、棗田学、米岡有一郎、西山健一、藤井幸彦	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌(88).第22回日本間脳下垂体腫瘍学会proceeding. Supplement : 26-28, 2012	放射線治療が頭蓋内胚腫患者の高次脳機能に与える影響	神宮字伸哉、福多真史、吉村淳一、米岡有一郎、相場恵美子、藤井幸彦	脳神経外科
脳卒中の外科 40: 343-348, 2012	Trans-sylvian STA-SCA吻合術	小澤常徳、倉部 聡、青木 悟、渡邊 潤、本道洋昭、藤井幸彦	脳神経外科
NS NOW No. 20(10), 53-65, 2012	クリップ・コイル術後の再発例に対する手術〜ワンステップ上をめざした脳動脈瘤手術	森田 健一、飯原 弘二	脳神経外科
No Shinkei Geka. 41(1):15-24, 2013	脳動脈瘤手術における経頭蓋運動誘発電位モニタリング	山下慎也、佐々木修、鈴木健司、高尾哲郎、中村公彦、小池哲雄	脳神経外科
「頸動脈内膜剥離術 ブラクテイス」: 74-80	CEAの手術適応とリスクマネジメント-心疾患合併例の治療指針	森田健一、飯原弘二	脳神経外科
p36-43 (片山容一、富永梯二、齊藤延人: ビジュアル脳神経外科6. 間脳・下垂体・傍鞍部、メジカルビュー社、東京、2013)	視床下部病変の症候と生理学的検査	福多真史	脳神経外科
J Neuropathol Exp Neurol	Characteristics of Aquaporin Expression Surrounding Senile Plaques and Cerebral Amyloid Angiopathy in Alzheimer Disease	Hoshi A, Yamamoto T, Shimizu K, Ugawa Y, Nishizawa M, Takahashi H, Kakita A.	神経内科
PLOS one	Alteration of POLDIP3 Splicing Associated with Loss of Function of TDP-43 in Tissues Affected with ALS	Shiga A, Ishihara T, Miyashita A, Kuwabara M, Kato T, Watanabe N, Yamahira A, Kondo C, Yokoseki A, Takahashi M, Kuwano R, Kakita A, Nishizawa M, Takahashi H,	神経内科
Acta Neuropathol	Coexistence of Huntington's disease and amyotrophic lateral sclerosis: a clinicopathologic study	Tada M, Coon EA, Osmand AP, Kirby PA, Martin W, Wieler M, Shiga A, Shirasaki H, Tada M, Makifuchi T, Yamada M, Kakita A, Nishizawa M, Takahashi H, Paulson HL.	神経内科
Parkinsonism and Related Disorders	A serial MRI study in a patient with progressive supranuclear palsy with cerebellar ataxia	Kanazawa M, Shimohata T, Endo K, Koike R, Takahashi H,	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuropathology	Benign hereditary chorea 2: Pathological findings in an autopsy case	Yasuji Yoshida, Jinichi Nunomura, Takayoshi Shimohata, Hiroshi Nanjo and Hajime Miyata	神経内科
	Significance and Usefulness of Heart Rate Variability Patients with Multiple System Atrophy	Hiroshi Furushima,MD, Takayoshi Shimohata,MD, Hideaki Nakayama,MD, Tetsutaro Ozawa,MD, Masaomi Chinushi,MD, Yoshifusa Aizawa,MD, and Masatoyo Nshizawa,MD	神経内科
Neurological Medicine	Chorea as the First Sign in a Patient with Elderly-Onset Systemic Lupus Erythematosus	Ariizumi Y, Ozawa T, Tokutake T, Kawachi I, Hirose M, Katada S, Igarashi S, Tanaka K, Nishizawa M	神経内科
Movement Disorders	Maintaining Glottic Opening in Multiple System Atrophy: Efficacy of Serotonergic Therapy	Ozawa T, Sekiya K, Sekine Y, Shimohata T, Tomita M, Nakayama H, Aizawa N, Takeuchi R, Tokutake T, Katada S, Nishizawa M	神経内科
Amyotrophic Lateral Sclerosis	Reduction rate of body mass index predicts prognosis for survival in amyotrophic lateral sclerosis: A multicenter study in Japan	Shimizu T, Nagaoka U, Nakayama Y, Kawata A, Kugimoto C, Kuroiwa Y, Kawai M, Shimohata T, Nishizawa M, Mihara B, Arahata H, Fujii N, Namba R, Ito H, Imai T, Nobukuni K, Kondo K, Ogino M, Nakajima T, Komori	神経内科
Movement Disorders	Neuronal Iron Accumulation Associated with Tau Deficiency in Parkinsonism	Ozawa T	神経内科
Aging and Disease	Lithium Treatment Reduces Brain Injury Induced by Focal Ischemia with Partial Reperfusion and the Protective Mechanisms Dispute the Importance of Akt Activity	Takahashi T, Steinberg GK, Zhao H	神経内科
Movement Disorders	Oligodendroglial Dysfunction Associated With Lactate Transport Deficiency Contributes to Neurodegeneration	Ozawa T	神経内科
JNPN	Japanese amyotrophic lateral sclerosis patients with GGGCC hexanucleotide repeat expansion in C9orf72	Konno T, Shiga A, Tsujino A, Sugai A, Kato T, Kanai K, Yokoseki A, Eguchi H, Kuwabara S, Nishizawa M, Takahashi H, Onodera O	神経内科
Amyotrophic Lateral Sclerosis	Dropped head syndrome in amyotrophic lateral sclerosis	Uemura M, Kosaka T, Shimohata T, Ishikawa M, Nishihira Y, Toyoshima Y, Yanagawa K, Kawachi I, Takahashi H, Nishizawa M	神経内科
International Journal of Alzheimer's Disease	$\alpha$ -Synuclein as CSF and Blood Biomarker of Dementia with Lewy Bodies	Kasuga K, Nishizawa M, Ikeuchi T	神経内科
J Biol Chem	Hyperphosphorylation of Tau Induced by Naturally Secreted Amyloid- $\beta$ at Nanomolar Concentrations Is Modulated by Insulin-dependent Akt-GSK3 $\beta$ Signaling Pathway	Tokutake T, Kasuga K, Yajima R, Sekine Y, Tezuka T, Nishizawa M, Ikeuchi	神経内科
Movement Disorders	Selective Serotonin Reuptake Inhibitors Emerge as the Therapeutic Agent for Synucleinopathies	Ozawa T	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Modern rheumatology	Semiquantitative measurement of aquaporin-4 antibodies as a possible surrogate marker of neuromyelitis optica spectrum disorders with systemic autoimmune disease.	Katsumata Y, Kawachi I, Kawaguchi Y, Gono T, Ichida H, Hara M, Yamanaka H	神経内科
BMC Neurology	Daytime sleepiness in Japanese patients with multiple system atrophy: prevalence and determinants	Shimohata T, Nakayama H, Tomita M, Ozawa T, Nishizawa M	神経内科
Ann Neurol	Cognitive impairment and cortical degeneration in neuromyelitis optica	Saji E, Arakawa M, Yanagawa K, Toyoshima Y, Yokoseki A, Okamoto K, Otsuki M, Akazawa K, Kakita A, Takahashi H, Nishizawa M, Kawachi I	神経内科
Mult Scler	Relapse of multiple sclerosis in a patient retaining CCR7-expressing T cells in CSF under fingolimod therapy	Yokoseki A, Saji E, Arakawa M, Hokari M, Ishiguro T, Yanagimura F, Ishihara T, Okamoto K, Nishizawa M, Kawachi I	神経内科
J Oral Maxillofac Surg	Keratinocytes of tissue-engineered human oral mucosa promote re-epithelialization after intraoral grafting in athymic mice	Yoshizawa M	口腔再建外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol	Effects of Intermittent Parathyroid Hormone Treatment on New Bone Formation during Distraction Osteogenesis in the Rat Mandible	Ali MN	口腔再建外科
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	Changes in masticatory functions after surgical orthognathic treatment in patients with jaw deformities: Efficacy of masticatory exercise using chewing gum	Kato K	口腔再建外科
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	Effect of orthognathic surgery on middle ear condition	Sato H	口腔再建外科
Int J Oral Maxillofac Surg	Evaluation of bone volume changes after sinus floor augmentation with autogenous bone grafts	Arasawa M	口腔再建外科
Open Journal of Stomatology	Prognostic predictors on the efficacy of oral appliance therapy for obstructive sleep apnea syndrome	Iwamoto T	口腔再建外科
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	Effects of surgical orthodontic treatment for dentofacial deformities on signs and symptoms of temporomandibular joint	Togashi M	口腔再建外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Prognostic factors of Autotransplantation of teeth with complete root formation	Aoyama S	口腔再建外科
Br J Oral Maxillofac Surg	Changes in overnight arterial oxygen saturation following mandibular setback surgery	Kobayashi T	口腔再建外科
Dental Traumatol	Autotransplantation or replantation of cryopreserved teeth: a case series and literature review	Yoshizawa M	口腔再建外科
Histochem Cell Biol	Distinct expression patterns and roles of aldehyde dehydrogenases in normal oral mucosa keratinocytes: Differential inhibitory effects of a pharmacological inhibitor and RNAi-mediated knockdown on cellular phenotype and epithelial morphology	Kato H	口腔再建外科
BioMed. Res	Histochemical aspects of the vascular invasion at the erosion zone of the epiphyseal cartilage in MMP-9-deficient mice	Kojima T	口腔再建外科
Open Journal of Stomatology	Oral manifestations of acute promyelocytic leukemia: a case report.	Saito D	口腔再建外科
日口腔外会誌	白後部に発生した多型低悪性度腺癌の1例	小島 拓	口腔再建外科
日口腔外会誌	幼少時唾石症の臨床統計的検討	長谷部大地	口腔再建外科
日顎関節会誌	陳旧性両側顎関節脱臼の1例	高田佳之	口腔再建外科
日顎変形会誌	顎変形症診療ガイドライン策定のために収集したpatient questionの分析	小林正治	口腔再建外科
新潟歯会誌	長野赤十字病院口腔外科開設後27年3ヵ月間における唾石症の臨床的統計	長谷部大地	口腔再建外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
新潟歯会誌	化粧品による接触性口唇炎および皮膚炎と考えられた1例	芳澤享子	口腔再建外科
Jpn J Maxillo Facial Implants	インプラント治療のための再建下顎骨部垂直骨延長法	小林正治	口腔再建外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.	Ghost cell odontogenic carcinoma arising in the background of a benign calcifying cystic odontogenic tumor of the mandible: Report of a case and review of the literature.	Arashiyama T	顎顔面口腔外科
CRANIO	Orofacial Pain Related to Traumatic Neuroma in a Multiply Operated TMJ Patient.	Kodama Y	顎顔面口腔外科
J Oral Maxillofac Surg.	Alveolar bone grafting in association with polyostotic fibrous dysplasia and bisphosphonate-induced abnormal bone turnover in a bilateral cleft lip and palate patient: a case report.	Kodama Y	顎顔面口腔外科
Histopathology	Keratin 10-positive orthokeratotic dysplasia: a new leucoplakia-type precancerous entity of the oral mucosa.	Kobayashi T	顎顔面口腔外科
Bone	A clinical study of alveolar bone tissue engineering with cultured autogenous periosteal cells: Coordinated activation of bone formation and resorption.	Nagata M	顎顔面口腔外科
Arch Oral Biol.	Zoledronic acid induces S-phase arrest via a DNA damage response in normal human oral keratinocytes.	Ohnuki H	顎顔面口腔外科
Stem Cell Res.	Tissue culture of human alveolar periosteal sheets using a stem-cell culture medium (MesenPRO-RS™): In vitro expansion of CD146-positive cells and concomitant upregulation of osteogenic potential in vivo.	Uematsu K	顎顔面口腔外科
Med Mol Morphol.	Irsogladine maleate ameliorates inflammation and fibrosis in mice with chronic colitis induced by dextran sulfate sodium.	Yamaguchi H	顎顔面口腔外科
小児口腔外科	二段階口蓋形成術法におけるFurlow法の応用—口蓋形成術の歴史的背景と15年200症例の経緯から—	高木律男	顎顔面口腔外科
口腔顎顔面外傷	新潟大学医学総合病院口腔外科における顎顔面外傷症例の臨床的検討～高次救命災害治療センター開設後の症例解析～	大貫尚志	顎顔面口腔外科
日本口腔ケア学会誌	積極的口腔管理を行った歯周炎を有する尋常性天疱瘡の1例.	黒川 亮	顎顔面口腔外科
Journal of Medical case reports, 2013, 7,77.	Protracted delay in taste sensation recovery after surgical lingual nerve repair: a case report	Kenji Seo	歯科麻酔学分野
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 2012 Feb;70(2):e119-23	Preoperative evaluation of spatial relationship between inferior alveolar nerve and fibro-osseous lesion by high resolution MR neurography on 3.0T system: a case report	Kenji Seo	歯科麻酔学分野
日本歯科麻酔学会雑誌(2012); 40(1):31-35	歯学部登院前における麻酔計画立案実習の歯科麻酔学教育効果に関する考察	瀬尾憲司	歯科麻酔学分野
臨床麻酔(2012); 36(2)237-238	感冒回復後の健康成人の全身麻酔で気管支攣縮が発生し喘息様気道過敏性亢進を示した症例	金丸博子	歯科麻酔学分野
新潟歯学会雑誌(2012); 42(1): 41-49	新潟大学医学総合病院における院内歯科救急対応システムの現況と分析	田中 裕	歯科麻酔学分野
新潟歯学会雑誌、42巻(2)、107-111	新潟大学医学総合病院、歯科麻酔科診療室における平成23年の外来患者の臨床統計的観察	山崎麻衣子	歯科麻酔学分野
臨床麻酔(2012);36(6):954-956	プリフォームド気管チューブが曲部で狭窄した2症例	弦巻 立	歯科麻酔学分野
ペインクリニック、(2012);33(4):569-572	簡易型熱温度閾値測定装置の開発	瀬尾憲司	歯科麻酔学分野
Arch Gerontol Geriatr, 54, 39-43, 2012	Serum albumin (SA) levels and 10-year mortality in a community-dwelling 70-year-old population	Takata Y, Miyazaki H	予防歯科
Am J Kidney Dis, 59, 202-209, 2012	Periodontal disease and decreased kidney function in Japanese elderly	Iwasaki M, Miyazaki H	予防歯科
J Dent Res, 91, 167-172, 2012	Relations of serum ascorbic acid and $\alpha$ -tocopherol to periodontal disease	Iwasaki M, Miyazaki H	予防歯科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Aging Res Clin Prac, 1, 84-87, 2012	Association of dental status with vegetable intake in an elderly population	Hirotsomi T, Miyazaki H	予防歯科
J Dent, 40, 304-311, 2012	Association between periodontitis and systemic bone mineral density in Japanese community-dwelling postmenopausal women	Takahashi O, Miyazaki H	予防歯科
Community Dent Oral Epidemiol, 40, 154-163, 2012	Tooth-related risk factors for tooth loss in community-dwelling elderly people	Hirotsomi T, Miyazaki H	予防歯科
J Periodontol, 83, 635-643, 2012	Association between volatile sulfur compounds and periodontal disease progression in elderly non-smokers	Makino Y, Miyazaki H	予防歯科
J Bone Miner Metab, 30, 447-453, 2012	Change in bone mineral density and tooth loss in Japanese community-dwelling postmenopausal women: A 5-year cohort study	Iwasaki M, Miyazaki H	予防歯科
J Dent Res, 91, 828-833, 2012	Serum antibody to Porphyromonas gingivalis in chronic kidney disease	Iwasaki M, Miyazaki H	予防歯科
Int J Oral Health, 8, 6-13, 2012	Contribution of differences between urban municipalities to the inequality in the prevalence of dental caries in Japan	Makino Y, Miyazaki H	予防歯科
Int J Oral Health, 8, 52-59, 2012	Effect of periodontal treatment on serum MCP-1 in type 2 diabetes	Ogawa H, Miyazaki H	予防歯科
Oral Health Prev Dent, 10, 161-166, 2012	Association between glucan synthesis by Streptococcus mutans and caries incidence in schoolchildren receiving fluoride mouth rinse	Umetsu H, Miyazaki H	予防歯科
Aging Clin Exp Res, 24, 257-264, 2012	Physical performance and 10-year mortality in a 70-year-old community-dwelling population	Takata Y, Miyazaki H	予防歯科
J Breath Res, 6, doi 10.1088/1752-7155/1086/1081/017107, 2012	Tablets containing a cysteine protease, actinidine, reduce oral malodor: a crossover study	Nohno K, Miyazaki H	予防歯科
Public Health Nutr, 16, 330-338, 2012	Dietary antioxidants and periodontal disease in community-based older Japanese: a 2-year follow-up study	Iwasaki M, Miyazaki H	予防歯科
Grodontology, 29, doi 10.1111/ger.12015, 2012	The association between renal function and tooth loss in Japanese community-dwelling postmenopausal women	Yoshihara A, Miyazaki H	予防歯科
口腔衛生会誌, 62, 289-295, 2012	地域在住女性高齢者における咀嚼能力と開眼片足立ち保持時間の関連	岩崎正則, 宮崎秀夫	予防歯科
口腔衛生会誌, 62, 397-402, 2012	歯エナメル質の脱灰を抑制しPorphyromonas gingivalisの生育を抑制するpHとカルシウム濃度の探索	鈴木大介, 宮崎秀夫	予防歯科
口腔衛生会誌, 62, 445-453, 2012	オーラルディアドコキネシスを用いた構音機能の評価と発声発語器障害との関連	杉本智子, 宮崎秀夫	予防歯科
Histochemistry & Cell Biogyl	Immunohistochemical analysis of two stem cell markers of $\alpha$ -smooth muscle actin and STRO-1 during wound healing of human dental pulp.	吉羽永子 他	歯の診療科
Cell & tissue Research	Immunohistochemical and gene expression analysis of stem-cell-associated markers in rat dental pulp.	金子友厚 他	歯の診療科
Journal of Endodontics	Gene expression analysis of membrane transport proteins in normal and lipopolysaccharide-inflamed rat dental pulp	興地隆史 他	歯の診療科
Odontology	Odontoblast response to cavity preparation with Er:YAG laser in rat molars: an immunohistochemical study.	重谷佳見 他	歯の診療科
International Endodontic Journal	Bioactivity evaluation of three calcium silicate-based endodontic materials.	韓 臨麟 他	歯の診療科
Journal of Endodontics	Up-regulation of p38 mitogen-activated protein kinase during pulp injury-induced glial cell/neuronal interaction in the rat thalamus.	金子友厚 他	歯の診療科
日本歯科保存学雑誌	ニッケルチタンファイルReciprocの彎曲根管切削特性	興地隆史 他	歯の診療科
日本歯科保存学雑誌	ineral trioxide aggregateに対するラット皮下結合組織の応答-マクロファージ関連分子の免疫組織化学的・分子生物学的解析-	金子友厚 他	歯の診療科
Cryobiology, in press.	An improved freeze-dried PRP-coated biodegradable material suitable for connective tissue regenerative therapy.	Horimizu M, et al.	歯周病科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Periodontol, in press.	Assessment of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis.	Kobayashi T, et al.	歯周病科
Stem Cell Res, 10: 1-19, 2013.	Tissue culture of human alveolar periosteal sheets using a stem-cell culture medium (MesenPRO-RS™): In vitro expansion of CD146-positive cells and concomitant upregulation of osteogenic potential in vivo.	Uematsu K, et al.	歯周病科
Microns, 48: 1-10, 2013.	Biomechanical evaluation by AFM of cultured human cell-multilayered periosteal sheets.	Horimizu M, et al.	歯周病科
Mater Lett, 95:103-106, 2013.	Microporous membranes of PLLA/PCL blends for periosteal tissue scaffold.	Kouya T, et al.	歯周病科
Int J Periodontics Restorative Dent, 33: 281-287, 2013.	Tissue engineered cultured periosteum sheet application to treat infrabony defects: case series and 5-year results.	Okuda K, et al.	歯周病科
Biopreserv Biobank, 10(3): 245-252, 2012.	A short-term preservation of human cultured periosteal sheets, osteogenic grafting materials, using a commercial preservation solution containing epigallocatechin-3-gallate (Theliokeep) under chilled conditions.	Kamiya M, et al.	歯周病科
Bone, 50: 1123-1129, 2012.	A clinical study of the alveolar bone tissue engineering with cultured autogenous periosteal cells: coordinated activation of bone formation and resorption.	Nagata M, et al.	歯周病科
Open Journal of Stomatology, 2(2): 81-87, 2012.	The comparative effectiveness of granules or blocks of superporous hydroxyapatite for the treatment of intrabony periodontal defects.	Shirai Y, et al.	歯周病科
Biologicals, 40: 323-329, 2012.	A proposed protocol for the standardized preparation of PRF membranes for clinical use.	Kobayashi M, et al.	歯周病科
J Lasers Med Sci, 3(4): 175-84, 2012.	Effects of Erbium-Doped: Yttrium Aluminum Garnet (Er: YAG) Laser on Bacteremia due to Scaling and Root Planing.	Komatsu Y, et al.	歯周病科
日本歯周病学会誌 54巻4号: 352-374頁, 2012.	ポジションペーパー(学会見解論文)生涯を通じての歯周病対策 -セルフケア, プロフェッショナルケア, コミュニティーケア-	森田学, ほか	歯周病科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Correlations between alveolar bone microstructure and bone turnover markers in pre- and postmenopausal women.	Yamashita-Mikami E	義歯診療科
FEBS J.	A dimerization defect caused by a glycine substitution at position 420 by serine in tissue-nonspecific alkaline phosphatase associated with perinatal hypophosphatasia.	Makita S	義歯診療科
The Journal of craniomandibular practice.	Sequential analysis of head movement during mandibular open-close movements in TMD patients with disk displacement with reduction.	Kon H	義歯診療科
Open Dent J	Microstructural observation with micro-computed tomography and histological analysis of human alveolar bone biopsy from a planned implant site: A case trial.	Yamashita-Mikami E	義歯診療科
日本補綴歯科学会誌	回転切削機器による技工操作時における局所振動伝播の加速度計による評価.	林 頼雄	義歯診療科
Int. J. Oral Maxillofac. Implants	Observation of the bone surrounding an overloaded implant in a novel rat model.	Nagasawa M	冠ブリッジ診療科
Arch Oral Biol	Identification and characterization of neural crest-derived cells in adult periodontal ligament of mice.	Kaku M	冠ブリッジ診療科
Archives of oral biology	Relationship between serum antibody titers to Porphyromonas gingivalis and hs-CRP levels as inflammatory markers of periodontitis.	Miyashita H, Honda T, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K	歯科総合診療部
Lipids in Health and Disease	Effect of Porphyromonas gingivalis infection on post-transcriptional regulation of the low-density lipoprotein receptor in mice.	Miyazawa H, Tabeta K, Miyauchi S, Aoki Y, Domon H, Honda T, Nakajima T,	歯科総合診療部



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of periodontal research	Natural killer T cells mediate alveolar bone resorption and a systemic inflammatory response in response to oral infection of mice with Porphyromonas gingivalis.	Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Miyauchi S, Miyazawa H, Yamada H, Domon H, Tabeta K,	歯科総合診療部
日本補綴歯科学会雑誌	全部铸造冠支台歯形成の技術教育と客観的評価に関する試み	田口裕哉, 滝沢智子, 岡友有子, 藤井規孝	歯科総合診療部
Int J Oral Maxillofac Surg	Postoperative changes in mandibular prognathism surgically treated by intraoral vertical ramus osteotomy	Nihara J	矯正歯科
Int J Med Sci Public Health	The frontal sinus enlargement as an indicator of growth maturity in Class III patients: A pilot study	Yessenia Guevara	矯正歯科
J Oral Sci	Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces: A comparative study	Ahsan A	矯正歯科
Orthodontic Waves	Orthodontic treatment combined with temporary anchorage device for Class II with osteoarthritis of the temporomandibular joint	Watanabe N	矯正歯科
日顎変形誌	下顎後方移動術後の三次元口腔周囲軟組織形態変化解析における重回帰分析の有効性	焼田裕里	矯正歯科
Orthodontic Waves-Jpn Ed	総合大学新入生におけるDental Aesthetic Indexと歯列に対する自己評価との関連性について	渡辺 厚	矯正歯科
日顎変形誌	下顎後方移動術前後における口腔周囲軟組織形態の三次元変化様相の解析～顔面・歯列模型統合三次元データの応用～	小原彰浩	矯正歯科
Am Surg. 2012;78:1388-91	Clinicopathological features of benign biliary strictures masquerading as biliary malignancy.	Wakai T	消化器・一般外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2013;20:362-9	Early DNA damage response in residual carcinoma in situ at ductal stumps and local recurrence in patients undergoing resection for extrahepatic cholangiocarcinoma	Wakai T	消化器・一般外科
Int J Clin Exp Pathol. 2012;5:308-14	Histologic evaluation of intrahepatic micrometastases in patients treated with or without neoadjuvant chemotherapy for colorectal carcinoma liver metastasis.	Wakai T	消化器・一般外科
Hepatogastroenterology. 2012;59:2083-8	Surgical outcomes of minor hepatectomy for locally advanced gallbladder carcinoma.	Wakai T	消化器・一般外科
Hepatogastroenterology. 2012;59:1013-7	Morphological features of early gallbladder carcinoma	Wakai T	消化器・一般外科
World J Gastroenterol. 2012;18:4736-43	Extended radical cholecystectomy for gallbladder cancer: long-term outcomes, indications and limitations.	Shirai Y	消化器・一般外科
World J Gastroenterol. 2012;18:2775-83	Regional lymphadenectomy for gallbladder cancer: rational extent, technical details, and patient outcomes.	Shirai Y	消化器・一般外科
World J Surg Oncol. 2012;10:87	Assessment of lymph node status in gallbladder cancer: location, number, or ratio of positive nodes.	Shirai Y	消化器・一般外科
Hepatogastroenterology. 2012;59:1338-40	Full-thickness cholecystectomy with limited lymphadenectomy for gallbladder cancer.	Shirai Y	消化器・一般外科
Hepatogastroenterology. 2012;59:2436-8	Intraoperative assessment of the resectability of hilar cholangiocarcinoma	Shirai Y	消化器・一般外科
Jpn J Clin Oncol. 2012;42:578-85	Prospective observational study of imatinib therapy in Japanese patients with advanced gastrointestinal stromal tumors: long-term follow-up and second malignancy	Kanda T	消化器・一般外科
Gastric Cancer. 2012;15:235-44	Gastrectomy as a secondary surgery for stage IV gastric cancer patients who underwent S-1-based chemotherapy: a multi-institute retrospective study.	Kanda T	消化器・一般外科
肝・胆・膵 64巻 523-530	【胆嚢癌フロントライン】診断 胆嚢癌肝内進展様式とその診断	若井 俊文	消化器・一般外科
肝胆膵画像 14巻 23-29	【進行胆嚢癌の診断と治療】各論 手術術式 pT2-3(ss/se)胆嚢癌に対する外科切除	若井 俊文	消化器・一般外科
消化器外科 35巻 1005-1015	【癌化学療法のエビデンス】GIST	神田 達夫	消化器・一般外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器外科学レビュー 2012巻 180-186	消化管間質腫瘍(GIST)	神田 達夫	消化器・一般外科
Annual Review 消化器 2012巻 281-286	消化器外科 消化管GISTに対する治療戦略	神田 達夫	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 40-45	【「切除困難例」への化学療法後の手術—根治切除はどこまで可能か】GISTに対する化学療法後の手術	神田 達夫	消化器・一般外科
消化器外科 35巻 937-946	消化器外科手術アトラス 臍頭十二指腸切除術における上腸間膜動静脈の先行郭清 左後方アプローチの手技	黒崎 功	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 204-209	【肝胆膵外科手術における術中トラブル その予防と対処のポイント】胆道手術 Confluence stoneに対する外科治療—胆管損傷を避ける工夫	黒崎 功	消化器・一般外科
日本臨床 70巻増刊1 炎症性腸疾患 462-467	【炎症性腸疾患-病院解明と診断・治療の最新知見-】炎症性腸疾患の外科的治療 炎症性腸疾患の周期管理と術後合併症	飯合 恒夫	消化器・一般外科
大腸癌Frontier 5巻 122-127	【肛門管癌と虫垂癌】肛門管癌 肛門管癌の画像診断 CT・MRI・PETなど	野上 仁	消化器・一般外科
成人病と生活習慣病 42巻 1038-1041	【肛門疾患のすべて】直腸肛門の解剖	島田 能史	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 364-366	【消化器外科のドレーン管理を再考する】腹膜炎手術後のドレーン管理	島田 能史	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 274-280	【外科医のための癌診療データ】臓器別最新データ 消化管間質腫瘍(GIST) GISTの治療	石川 卓	消化器・一般外科
新潟医学会雑誌 126巻 161-166	非観血的用手整復後、待機的に腹腔鏡下修復術を施行した閉鎖孔ヘルニアの1例	小林 隆	消化器・一般外科
救急・集中治療 24巻 674-681	(クリティカルケアに必要な糖代謝と栄養管理-SCCM/ASPEN栄養管理ガイドラインに準拠して-) SCCM/ASPEN栄養管理ガイドライン 経腸栄養適正化のモニタリング	小山 諭	消化器・一般外科
新潟医学会雑誌 126巻 97-100	精神疾患患者の胃潰瘍穿孔4手術症例	覆本 剛彦	消化器・一般外科
新潟医学会雑誌 126巻 674-684	イマチニブ二次耐性GIST(Gastrointestinal Stromal Tumor)の病理組織学的・免疫組織学的研究	番場 竹生	消化器・一般外科
癌と化学療法 39巻 311-315	Panitumumabを用いた化学療法で病理学的CRが得られた切除不能Stage IV直腸癌の1例	番場 竹生	消化器・一般外科
新潟医学会雑誌 126巻 432-436	血小板減少を伴う肝細胞癌に対する肝切除における持続末梢神経ブロックの経験	井上 真	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 430-435	胃癌からのリンパ行性転移が強く疑われた小腸腫瘍専攻の1例	角田 知行	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌 73巻 1803-1807	脾に限局した孤立性サルコイドーシス様病変の1例	田中 亮	消化器・一般外科
日本内視鏡外科学会雑誌 17巻 353-358	酸性物質による腐食性胃炎後の噴門・幽門狭窄に対して腹腔鏡補助下胃全摘を施行した1例	田中 亮	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌 45巻 60-	急性膵炎で発症した下部胆管癌の1例	大橋 拓	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌 45巻 326-332	妊娠を契機に発症した慢性特発性偽性腸閉塞症の1例	田島 陽介	消化器・一般外科
臨床外科 67巻 263-266	大腸癌術後に出現し、脾転移との鑑別に苦慮した脾サルコイドーシスの1例	八木 寛	消化器・一般外科
新潟医学会雑誌 126巻 491-495	IgG4関連硬化性胆管炎4例の治療経験	齋藤 敬太	消化器・一般外科
J Gastroenterol Hepatol	Risk of subsequent biliary malignancy in patients undergoing cyst excision for congenital choledochal cysts	Ohhashi T	第一外科
Oral Radiol	Evaluation of the relationship between salivation ability and blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography.	Katsura K, Saito M, Hayashi T	歯科放射線科
Jpn J Clin Oncol	General rules for clinical and pathological studies on oral cancer: a synopsis.	Hayashi T	歯科放射線科
Oral Radiol	Evaluation of the relationship between salivation ability and blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography.	Katsura K, Saito M, Hayashi T	歯科放射線科
Oral Radiol	Clinical significance of T2 mapping MRI for the evaluation of masseter muscle pain in patients with temporomandibular joint disorders.	Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T	歯科放射線科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 2012 Jul;60(7)411-416	Optimization of thromboelastography-guided platelet transfusion in cardiovascular surgery.	Aoki K, Sugimoto A, Nagasawa A, Saito M, Ohzeki H.	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Asian Cardiovascular & Thoracic Annals. 2013 Feb;21(1):67-70	Surgical repair of aortico-left ventricular tunnel: report of two cases	Shiraishi S, Takahashi M, Watanabe M,	心臓血管外科
静脈学 23巻4号:315-320(2012.11)	【災害とVTE】新潟県中越地震6年後のDVT検診結果 DVTと高血圧との関連	榛沢 和彦, 岡本 竹司, 佐藤 浩一, 林 純一, 伊倉 真衣子, 中島 孝, 品田 恭子	心臓血管外科
心臓 44巻7号:957-958(2012.07)	震災と静脈血栓塞栓症 東日本大震災における深部静脈血栓症(DVT)に避難所環境が及ぼす影響と予防策	植田 信策, 榛沢 和彦, 柴田 宗一, 山村 修, 奈良 正之, 松本 桂輔	心臓血管外科
心臓 44巻7号:955-956(2012.07)	震災と静脈血栓塞栓症 岩手県三陸沿岸被災地地域のDVT頻度	佐々木 一裕, 榛沢 和彦, 山村 修, 柴田 宗一, 谷口 哲, 柏谷 元, 寺山 靖夫	心臓血管外科
血栓と循環 20巻1号:35-39(2012.04)	【東日本大震災と血栓】岩手県三陸沿岸地域におけるDVT頻度(津波が想定されていた地域の頻度)	佐々木 一裕, 榛沢 和彦, 山村 修, 柴田 宗一, 谷口 哲, 柏谷 元, 寺山 靖夫	心臓血管外科
Journal of Vascular Surgery. 2013 Jan;57(1):173-181	Neuroprotection following mild hypothermia after spinal cord ischemia in rats.	Saito T, Saito S, Yamamoto H, Tsuchida M.	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology. 2012 Aug;7(8):1246-1251	Predictive risk factors for mediastinal lymph node metastasis in clinical stage IA non-small-cell lung cancer patients	Koike T, Koike T, Yamato Y, Yoshiya K, Toyabe S.	呼吸器外科
Annals of Thoracic Surgery. 2012 Jun;93(6):1788-1794	Prognostic predictors in non-small cell lung cancer patients undergoing intentional segmentectomy	Koike T, Koike T, Yamato Y, Yoshiya K, Toyabe S.	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology. 2012 Nov;7(11):1661-1667	Endobronchial ultrasound doppler image features correlate with mRNA expression of HIF1- $\alpha$ and VEGF-C in patients with non-small-cell lung cancer.	Nakajima T, Anayama T, Koike T, Shingyoji M, Castle L, Kimura H, Yoshino I, Yasufuku K	呼吸器外科
Journal of Heart and Lung Transplantation. 2012 Oct;31(10):1120-1126	Physiologic assessment of the ex vivo donor lung for transplantation.	Yeung JC, Cypel M, Machuca TN, Koike T, Cook DJ, Bonato R, Chen M, Sato M, Waddell TK, Liu M, Slutsky AS, Keshavjee S.	呼吸器外科
Molecular Therapy. 2012 Jun;20(6):1204-1211	Ex vivo adenoviral vector gene delivery results in decreased vector-associated inflammation pre- and post-lung transplantation in the pig.	Yeung JC, Wagnetz D, Cypel M, Rubacha M, Koike T, Chun YM, Hu J, Waddell TK, Hwang DM, Liu M, Keshavjee S.	呼吸器外科
肺癌 52巻7号:1001-1006(2012.12)	新潟県における肺がんの解析	小池 輝明, 吉谷 克雄, 篠原 博彦, 白戸 亨, 横山 晶, 竹之内 辰也, 土田 正則, 鳥谷部 真一, 山崎 理, 若月 道秀	呼吸器外科
癌と化学療法 39巻12号:2083-2085(2012.11)	気胸を伴う乳癌術後の胸壁局所再発例に胸壁切除再建を行った1例	沢津橋 孝拓, 中塚 英樹, 森岡 伸浩, 清水 孝王, 土田 正則, 宮下 薫	呼吸器外科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Symptomatic outcomes in relation to tumor expansion after fractionated stereotactic radiation therapy for vestibular schwannomas: single-institutional long-term experience. 85(2):329-334,2013	Aoyama H,	放射線医学教室
新潟県医師会報	灌流CTによる肺癌の放射線治療に対する効果判定、および治療反応性の予測に関する研究、753(別冊):1-3, 2012	國井亮祐、	放射線医学教室
放射線治療計画ガイドライン 2012年版	中枢神経、緩和、放射線治療計画ガイドライン 2012年版、51-73, 277-286、金原出版、2012	青山英史	放射線医学教室
臨床放射線腫瘍学	中枢神経腫瘍・胚細胞系腫瘍、臨床放射線医学-最新知見に基づいた放射線治療の実践、213-216、南江堂、2012	青山英史	放射線医学教室
Randomized Clinical Trials of Nonpharmacological Treatments	Assessing Radiation Therapy: Practical Examples 255-268, Chapman and Hall/CRC, 2012.	Hidefumi Aoyama	放射線医学教室

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dysphagia, in press, 2013.	Fluoroscopic evaluation of tongue and jaw movements during mastication in healthy humans,	谷口 裕重	摂食・嚥下機能回復部
Int J Oral-Med Sci., 11(2):85-89, 2013.	Moistened techniques considered for patients' comfort and operators' ease in dental treatment,	伊藤 加代子	口腔リハビリテーション科
Rins'ho Shinkeigaku, 52(11):1192-1194, 2012.	Effects of pharyngeal electrical stimulation on the swallowing reflex and its possible clinical application.	井上 誠	口腔リハビリテーション科
顎顔面補綴, 36:54-60, 2013.	補綴装置を用いた摂食・嚥下リハビリテーションが奏功した重症筋無力症症例.	堀 一浩	口腔リハビリテーション科
口腔衛生学会雑誌, 印刷中, 2013.	「ドライマウス手帳」の作成とその改善点に関する調査.	伊藤 加代子	口腔リハビリテーション科
日本女性医学学会雑誌, 20(3):399-405, 2013.	女性におけるドライシンドロームの有訴率に関するWeb調査.	伊藤 加代子	口腔リハビリテーション科
日本女性医学学会雑誌, 20(1):35-48, 2012.	ホルモン補充療法の口腔領域における効果に関する文献レビュー.	伊藤 加代子	口腔リハビリテーション科
Intern Med.	Bilateral peripheral infiltrates refractory to immunosuppressants were diagnosed as autoimmune pulmonary alveolar proteinosis and improved by inhalation of granulocyte/macrophage-colony stimulating factor.	Satoh H, Tazawa R, Sakakibara T, Ohkouchi S, Ebina M, Miki M, Nakata K, Nukiwa T.	生命科学医療センター
J Immunol.	Runx1 deficiency in CD4+ T cells causes fatal autoimmune inflammatory lung disease due to spontaneous hyperactivation of cells.	Wong WF, Kohu K, Nakamura A, Ebina M, Kikuchi T, Tazawa R, Tanaka K, Kon S, Funaki T, Sugahara- Tobinai A, Looi CY, Endo S, Funayama R, Kurokawa M, Habu S, Ishii N, Fukumoto M, Nakata K, Takai T, Satake M.	生命科学医療センター
Bone.	A clinical study of alveolar bone tissue engineering with cultured autogenous periosteal cells: coordinated activation of bone formation and resorption.	Nagata M, Hoshina H, Li M, Arasawa M, Uematsu K, Ogawa S, Yamada K, Kawase T, Suzuki K, Ogose A, Fuse J, Okuda K, Uoshima K, Nakata K, Yoshie H, Takagi R.	生命科学医療センター
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol.	IgM-type GM-CSF autoantibody is etiologically a bystander but associated with IgG-type autoantibody production in autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Nei T, Urano S, Motoi N, Takizawa J, Kaneko C, Kanazawa H, Tazawa R, Nakagaki K, Akagawa KS, Akasaka K, Ichiwata T, Azuma A, Nakata K.	生命科学医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur. Respir.J.	Reduced GM-CSF autoantibody in improved lung of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Ohashi K, Sato A, Takada T, Inoue Y, Nakata K, Tazawa R.	生命科学医療センター
Respir Med	Direct evidence that GM-CSF inhalation improves lung clearance in pulmonary alveolar proteinosis.	Ohashi K, Sato A, Takada T, Arai T, Nei T, Kasahara Y, Motoi N, Hojo M, Urano S, Ishii H, Yokoba M, Eda R, Nakayama H, Nasuhara Y, Tsuchihashi Y, Kaneko C, Kanazawa H, Ebara M, Yamaguchi E, Kirchner J, Inoue Y, Nakata K, Tazawa R.	生命科学医療センター
The oncologist	Quality of life with gefitinib in patients with EGFR-mutated non-small cell lung cancer: quality of life analysis of North East Japan Study Group 002 Trial.	Oizumi S, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
Vaccine	Epitope diversification driven by non-tumor epitope-specific Th1 and Th17 mediates potent antitumor reactivity.	Ichikawa K, Watanabe S, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
Annals of Oncology	Updated overall survival results from a randomized phase 3 trial comparing gefitinib with carboplatin-paclitaxel for chemo-naive non-small cell lung cancer with sensitive EGFR gene mutations(NEJ002)	Inoue A, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
BLOOD	Depletion of radio-resistant regulatory T cells enhances antitumor immunity during recovery from lymphopenia	Baba J, Watanabe S, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
Annals of Oncology	Efficacy and safety of single-dose fosaprepitant in the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving high-dose cisplatin:a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial	Saito H, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
Support Care Cancer	A phase III open-label study to assess safety and efficacy of palonosetron for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting (CINV) in repeated cycles of emetogenic chemotherapy.	Aogi K, Yoshizawa H.	生命科学医療センター
Respiratory Investigation	Fatal acute interstitial pneumonia in a worker making chips from woodern debris generated by the Great East Japan earthquake and tsunami	Ohkouchi S, Moriyama H	生命科学医療センター
Respiratory Investigation	Elemental analysis of occupational and environmental lung disease by electron probe microanalyzer with wavelength dispersive spectrometer	Takada T, Moriyama H	生命科学医療センター
Respiratory Investigation	Preventive effect of irbesartan on bleomycin-induced lung injury in mice	Tanaka J, Moriyama H	生命科学医療センター
Respiratory Investigation	Development of pulmonary alveolar proteinosis following exposure to dust after the Great East Japan Earthquake	Shu Hisata, Moriyama H	生命科学医療センター
呼吸	肺胞蛋白症の十年史	中田光	生命科学医療センター
呼吸	LAMの分子標的療法	中田光	生命科学医療センター
呼吸と循環	肺胞蛋白症	田澤 立之	生命科学医療センター
新潟医学会雑誌	稀少肺難病との闘いーリンパ脈管筋腫症の国際共同臨床試験	中田光	生命科学医療センター
新潟医学会雑誌	副腎転移巣から出血をきたした肺癌と胃癌の重複癌の1例	才田優、渡部聡、吉澤弘久	生命科学医療センター
家族性腫瘍	家族性乳がん遺伝カウンセリング体制の構築にむけたこの1年の取り組みー新潟県の場合	田澤立之、後藤清恵、遠山潤、栗山洋子、坂田英子、小山諭、佐藤信昭、佐野宗明、島山勝義、中田光	生命科学医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Organ Biology	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウムの先発医薬品と後発医薬品間のリンパ球増殖抑制効果の比較	笹原浩康	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	歯科病棟における注射用抗菌薬の使用状況とカルバペネム系薬の起炎菌に対する適合性に関する調査	齋藤直美	薬剤部
Pediatrics International	Recurrence of pelvic abscess from Pantone-Valentine leukocidin-positive community-acquired ST30 methicillin-resistant Staphylococcus aureus	磯辺浩和	薬剤部
日本手術医学会誌	ディスプレイ・ディスプレイ・手術手袋の特性と適正使用	堀田哲夫	手術部
OPE nursing	手術室の停電対策	堀田哲夫	手術部
BMC Health Serv Res. 2012 Dec 5;12:448	Detecting inpatient falls by using natural language processing of electronic medical records.	Toyabe S, et al	医療安全管理部
Glob J Health Sci. 2012 Apr 28;4(3):64-71	Use of risk assessment tool for inpatient traumatic intracranial hemorrhage after falls in acute care hospital setting.	Toyabe S, et al	医療安全管理部

合計497件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木 榮一
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 宮田 幸宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室 フィルム管理室 電算機室 (歯) 医事課事務室	外来・・・1患者につき1カルテ番号方式 入院・・・1患者1入院につき1カルテ方式 外来・・・平成23年1月以降 電子媒体 平成22年12月以前 紙媒体 入院・・・電子媒体(1部紙媒体)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保険推進部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一項各号の状況及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木 榮一
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 齋藤 正志
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.6%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,203人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,916人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,908人
	D: 初診の患者の数		23,909人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本事項</li> <li>・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故の防止対策に関すること</li> <li>・ 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること</li> <li>・ 医療事故の防止マニュアルに関すること、他</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「本院の院内医療事故調査」, 「麻薬の取り扱い」, 「医歯学総合病院の現状と課題」</li> <li>・ 「医療安全 up-to-date ~Aiの活用も含めて~」</li> <li>・ 「輸血の安全管理対策-緊急輸血と血液製剤の取り扱いを中心に-」</li> <li>・ 「国立大学附属病院 損害賠償責任保険制度~訴訟事例・訴外の和解事例をもとにした保険対象の流れ~」</li> <li>・ 「全員参加の医療安全」</li> <li>・ 「院内の暴言・暴力の現状と対策について」, 「院内暴力への対応について」</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☑・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集</li> <li>・ 医療事故事例の医療事故防止委員会での報告, 改善策の立案と実施, 改善状況の検証</li> <li>・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備</li> <li>・ 医療事故対策委員会, (調査専門委員会)における事例分析, 再発防止の検討, 他</li> </ul> </li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	☑ ( 3 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑ ( 2 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 2 6 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容：医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため, 医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供</li> <li>・ 医療の安全管理に係る教育と研修, 部署リスクマネージャーとの連携</li> <li>・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認</li> <li>・ 医療に係る安全管理のための委員会 (医療事故防止委員会) の運営</li> <li>・ 医療安全管理ラウンドによるインシデント事例の再発防止策の実施状況等の確認, 他</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	☑・無

(様式第 13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染に関する基本的な考え方</li><li>・ 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項</li><li>・ 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針</li><li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>・ 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li><li>・ 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li></ul></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 4 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること</li><li>・ 院内感染の予防対策に関すること</li><li>・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること</li><li>・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること</li><li>・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること</li><li>・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること</li><li>・ その他院内感染対策に関すること</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>「医療現場で考える耐性菌対策」</li><li>「ワクチンによる制御が可能なウイルス感染症 ～麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎～」</li><li>「インフルエンザウイルスの治療と薬剤耐性」</li><li>「感染予防としての周術期口腔管理について」</li></ul></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ☑・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連ライン血流感染、手指消毒薬の払い出し状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施、蓄尿及び尿量測定方法に関する基準の策定</li><li>・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション）</li><li>・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施</li><li>・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂</li><li>・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション</li><li>・ TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供）</li></ul></li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 「麻薬の取り扱いについて」平成24年4月25、27日；講義（両日、同一の内容） 平成24年5月21、24日；講義映像の視聴	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： H25年4月、手順書に基づくチェックリストを一部改訂。 チェックの結果、改善が必要と考えられる事項を記載する欄を追記。 その他、一部改訂。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 採用薬剤適正使用情報 (Vol. 35～Vol. 43) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。 2. 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 18 No. 3 「抗がん剤 シリンジで投与する場合は、最終薬液量の記載を!!」 No. 4 「低カルシウム血症に注意!ランマーク皮下注」 No. 5 「アルマールの商品名が変更」 No. 6 「リリカカプセルでめまい、傾眠、意識消失!!」 Vol. 19 No. 1 「ピボキシル基を有する抗菌薬に注意」 No. 2 「医薬品誤飲・危害事故防止について」 No. 3 「ワクチン投与後の副反応にご注意ください!」 No. 4 「ガベキサートメシル酸塩は希釈濃度に注意!!」 No. 5 「サムスカ錠 肝機能障害に注意!!」	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 54 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明</li><li>・ 人工呼吸器の安全使用説明</li><li>・ 高気圧酸素療法装置</li><li>・ 除細動装置の取扱い</li><li>・ 閉鎖式保育器</li><li>・ モニター</li><li>・ 麻酔器</li><li>・ 内視鏡タワーの説明</li></ul></li><li>・ 血液ガス分析装置の取扱い</li><li>・ 浸透圧測定装置の取扱い</li><li>・ ペースメーカー</li><li>・ 超音波吸引装置</li><li>・ 自己血回収装置</li><li>・ 透析装置の取扱い説明</li><li>・ 手術用ナビゲーション操作</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画の策定 ( ☑・無 )</li><li>・ 保守点検の主な内容：医療機器（人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置）に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会（医療機器安全管理責任者を含む）にて評価を受ける。  * 保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管。</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li></ul>	